

# 情報の公表（抜粋版） ～鹿児島純心女子大学大学院～

## 目 次

### 1. 教育研究上の基礎的な情報

(1) 学部、学科、課程、研究科、専攻ごとの名称及び教育研究上の目的	1
(2) 専任教員数	2
(3) 校地・校舎等の施設その他の学生の教育研究環境	3
(4) 授業料、入学料その他の大学が徴収する費用	5
(5) 校舎等の耐震化率	6
(6) 寄附行為、役員名簿	7

### 2. 修学上の情報等

(1) 教員組織、各教員が有する学位及び業績	14
(2) 入学者に関する受入方針、入学者数、収容定員、在学者数、修了者数、進学者数、就職者数	26
(3) 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業計画(シラバス又は年間授業計画の概要)	27
(4) 学修の成果に係る評価及び修了の認定に当たっての基準 (必修・選択・自由科目別の必要単位修得数及び取得可能学位)	68
(5) 学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援	69
(6) 教育上の目的に応じ学生が修得すべき知識及び能力に関する情報 (主要科目の特徴、科目ごとの目標等)	70

### 3. 財務情報

71

### 4. 教育研究上の情報

(1) 教育条件	72
① 教員一人当たり学生数	
② 収容定員充足率	
③ 年齢別教員数	
④ 職階別教員数	
(2) 教育内容	73
⑤ 専任教員と非常勤教員の比率	
⑥ 学位授与数	
⑦ 就職先の情報	
(3) 学生の状況	74
⑧ 入学者推移	
⑨ 退学・除籍者数	
⑩ 中退率	
⑪ 留年者数	
⑫ 社会人学生数	
⑬ 留学生数及び海外派遣学生数	
(4) 国際交流・社会貢献等の概要	75
⑭ 海外の協定相手校	
⑮ 社会貢献活動	
⑯ 大学間連携	
⑰ 産官学連携	

## （1）研究科、専攻の名称及び教育研究上の目的

### 研究科、専攻の名称（令和元年5月1日現在）

研究科	専攻
人間科学研究科	心理臨床学専攻

### 研究科、専攻の教育研究上の目的（令和元年5月1日現在）

本学大学院は、カトリック精神に基づき、広い視野に立って、精深な学識を授け、専攻分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要な能力を養い、地域と世界に貢献しうる有能な人物を育成するとともに人類の平和及び文化と福祉の発展に寄与することを目的とする。

人間科学研究科心理臨床学専攻では、より高度な専門的知識を身につけた心理臨床の専門職業人を育成し、多様な分野での課題解決に必要とされている臨床心理士等の人材を育成することを目的としている。

# 情報の公表（抜粋版） ～鹿児島純心女子大学大学院～

[令和元年6月作成]

学校教育法施行規則で定められた情報の公表（令和元年度）

教育研究上の基礎的な情報

## （2）専任教員数

### 専任教員数（令和元年5月1日現在）

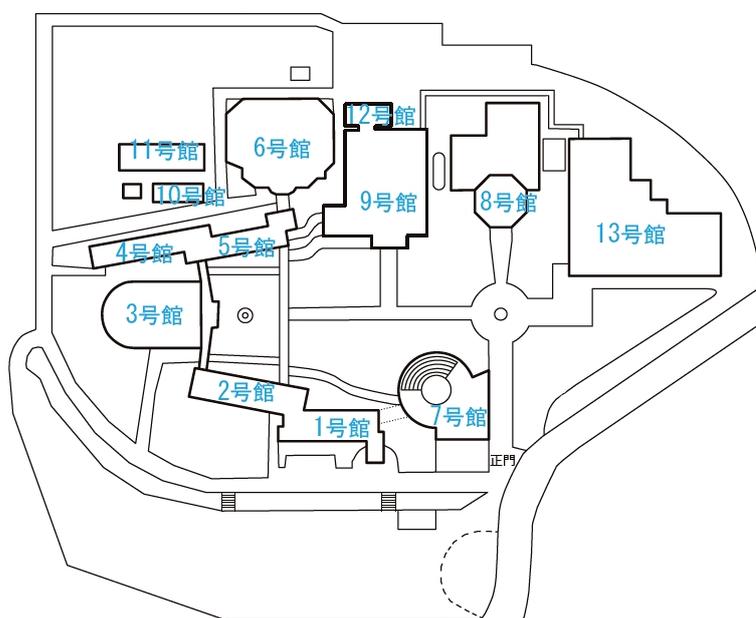
研究科	専攻	男性	女性	計
人間科学研究科	心理臨床学専攻	5	6	11

※専任教員は学部教員が兼ねる。

**(3) 校地・校舎等の施設その他の学生の教育研究環境**  
 （キャンパス概要、運動施設概要及びその他の学習環境、主な交通手段）

キャンパス概要（令和元年5月1日現在）

所在地：鹿児島県薩摩川内市天辰町 2365 番地 せんだい あまたつ 校地面積：98825 m<sup>2</sup> 校舎総面積：21630 m<sup>2</sup>  
 ※校舎総面積に体育館、講堂等（大学設置基準第 36 条第 5 項参照）は含まない。



校舎の名称	主な教育研究環境
1号館 管理棟	事務室、こども英語教育教材開発室
2号館 ゼミ・研究棟	保健室、進路支援課、地域連携推進室、教員養成センター、IR室、学生相談室
3号館 図書館	開架図書室、試験対策室、AV室、グループ学習室、学園創立者シスター江角ヤス記念展示室（純心創立のこころ）
4号館 実習棟	生物化学実験室、食品加工実習室、微生物実験室、共同実験室化学系、保健実習室、看護実習室、母性看護実習室
5号館 講義棟	普通講義室、小講義室、中講義室、看護演習室
6号館 体育館	アリーナ、トレーニングホール、部室
7号館 学生ホール棟	カフェテリア（純大フェリシア）
8号館 チャペル	礼拝堂
9号館 <small>えずみ</small> 江角記念ホール	オーディオルーム、給食経営管理実習食堂、ラウンジ、セミナー室、江角講堂、学生生活動室、語学実習室、健栄ラウンジ
10号館 動物舎	動物舎、実験室、薬品室
11号館 臨床栄養実習・生理学実験棟	生理学実験室、臨床栄養実習室
12号館 給食経営管理実習棟	給食経営管理実習室
13号館 サンタマリア館	附属博物館、礼法室、PC教室、情報ゼミ室、ICT講義室、こども学演習室、音楽室兼講義室、ピアノ室、ピアノ練習室、デザイン室、小児保健実習室、心理実験室、こども総合実習室、被服製作実習室、栄養教育実習室、学生会室、大学院（大学院生研究室、資料室、講義室兼会議室）、心理臨床相談センター（相談室、プレイルーム、心理査定室、ケースカンファランス室、スーパーヴィジョン室、資料室、研修員室）

# 情報の公表（抜粋版） ～鹿児島純心女子大学大学院～

## 運動施設の概要（令和元年5月1日現在）

6号館（体育館）はバスケットボールコート2面分の広さで、学部の授業等に使用されている。  
1階総面積：1892.28㎡ 2階総面積：478.58㎡

## 休息を行う環境（令和元年5月1日現在）

9号館（江角記念ホール）1階のラウンジ、7号館（カフェテリア）等が主に使用されている。

## 課外活動の状況及び活動施設（令和元年5月1日現在）

大学院生の活動団体（部・同好会）は該当なし

## 主な交通手段（令和元年5月1日現在）

大学院生の主な交通手段は、自家用車が41.6%、高速バス及び自転車が同率で25.0%を占め、次いで鉄道の順となっている。



主な公共交通機関		(参考) 所要時間
鹿児島交通	高速バス せんだい号	鹿児島駅 ⇄ 本学 (約72分) 鹿児島中央駅 ⇄ 本学 (約52～62分)
	路線バス 46・47番線	川内駅前(西口) ⇄ 本学 (約10分)
	路線バス 指定寮間直行	マリオンホール ⇄ 本学 (約7分)
JR	鹿児島本線	鹿児島中央駅 ⇄ 川内駅 (約49～54分)
	九州新幹線	鹿児島中央駅 ⇄ 川内駅 (約11～13分)
肥薩おれんじ鉄道		阿久根駅 ⇄ 川内駅 (約36～39分)

## （4）授業料、入学料その他の大学が徴収する費用

### 授業料、入学料等の初年度納付金（令和元年5月1日現在）

別表（第51条関係） 大学院研究科納入金内訳 （単位：円）

費 目	金 額	前 期	後 期
入 学 検 定 料	30,000	受 験 時	
入 学 料	150,000	入 学 時	
授 業 料	550,000	275,000	275,000
実 験 実 習 費	50,000	25,000	25,000
教 育 充 実 費	70,000	35,000	35,000
図 書 館 費	30,000	15,000	15,000

### その他の徴収費用（令和元年5月1日現在）

「学生教育研究災害傷害保険」は大学の正課、大学行事、課外活動の中で、または、通学途中及びキャンパス内での学生のケガを対象とする保険である。

また、「学研災付帯賠償責任保険」は上記保険の課外活動を除く範囲と大学が課外活動と認めた活動、大学に届け出たボランティア活動、臨床心理実習中及びその往復中での対人、対物賠償責任保険である。

本学では、安心して学生生活を送るために全員が一括して上記保険に加入することになっている。両保険の保険料総額は2年間で2,430円である。

## （5）校舎等の耐震化率

### 校舎等の耐震化率（平成31年4月1日現在）

耐震化率・・・日本私立学校振興・共済事業団による「2019年度 私立学校校舎等実態調査」に基づき、下記の式により学校法人鹿児島純心女子学園全体で算出した率

（分母）「実態調査」対象施設の延床面積合計

（分子）a または b に該当する建物の延床面積の合計

a 新耐震基準で建築された建物

b 旧耐震基準で建築された建物のうち、耐震診断を実施済で、耐震性能を有しているあるいは耐震補強済（2019年4月1日現在、補強工事中含む）の建物

設置校名称	対象保有面積 ①	新耐震基準 で建築 ②	旧耐震基準で建築		耐震化率 (②+③)/①
			耐震性あり ③	耐震性なし ④	
鹿児島純心女子大学	26,737 m <sup>2</sup>	26,737 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	100.0%
鹿児島純心女子短期大学	21,512 m <sup>2</sup>	14,639 m <sup>2</sup>	6,873 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	100.0%
鹿児島純心女子高等学校 ・中学校	23,350 m <sup>2</sup>	12,652 m <sup>2</sup>	10,698 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	100.0%
幼保連携型認定こども園 鹿児島純心女子大学附属純心 幼稚園	4,408 m <sup>2</sup>	3,998 m <sup>2</sup>	410 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	100.0%
合計	76,007 m <sup>2</sup>	58,026 m <sup>2</sup>	17,981 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	100.0%

※「新耐震基準で建築」とは、1981(昭和56)年7月1日以降に建築された建物をいう。

※「旧耐震基準で建築」とは、1981(昭和56)年6月30日以前に建築された建物をいう。

## （6）寄附行為、役員名簿

### 学校法人鹿児島純心女子学園寄附行為（令和元年5月1日現在）

#### 第1章 総則

（名称）

第1条 この法人は、学校法人鹿児島純心女子学園と称する。

（事務所）

第2条 この法人は、事務所を鹿児島市唐湊4丁目22番1号に置く。

#### 第2章 目的及び事業

（目的）

第3条 この法人は、カトリック精神に基づき人格教育を施し、もって有為な人材を育成するため、教育基本法及び学校教育法並びに就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律に従い、学校教育及び保育を行うことを目的とする。

（設置する学校）

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次に掲げる学校を設置する。

- (1) 鹿児島純心女子大学
  - 大学院 人間科学研究科
  - 国際人間学部 ことばと文化学科
  - こども学科
  - 人間教育学部 教育・心理学科
  - 看護栄養学部 看護学科
  - 健康栄養学科
- (2) 鹿児島純心女子短期大学
  - 生活学科
  - 英語科
- (3) 鹿児島純心女子高等学校
  - 全日制課程
- (4) 鹿児島純心女子中学校
- (5) 幼保連携型認定こども園鹿児島純心女子大学附属純心幼稚園

#### 第3章 役員及び理事会

（役員）

第5条 この法人に、次の役員を置く。

- (1) 理事8人以上10人以内
  - (2) 監事2人
- 2 理事のうち1人を理事長とし、理事総数の過半数の議決により選任する。理事長の職を解任するときも、同様とする。

（理事の選任）

第6条 理事は、次の各号に掲げる者とする。

- (1) 宗教法人純心聖母会代表役員1人
- (2) 鹿児島純心女子大学長
- (3) 鹿児島純心女子高等学校長
- (4) 評議員のうちから評議員会において選任された者3人以上5人以内
- (5) この法人に関係ある学識経験者及び功労者のうち理事会において選任した者2人

# 情報の公表（抜粋版） ～鹿児島純心女子大学大学院～

- 2 前項第1号から第4号までに規定する理事は代表役員、学長、校長又は評議員の職を退いたときは、理事の職を失うものとする。

## （監事の選任）

- 第7条 監事は、この法人の理事、職員又は評議員以外の者であって理事会において選出した候補者のうちから、評議員会の同意を得て、理事長が選任する。

## （役員任期）

- 第8条 役員（第6条第1項第1号から第3号に掲げる理事を除く。以下この条において同じ。）の任期は、4年とする。ただし、補欠の役員の任期は、前任者の残任期間とする。

- 2 役員は、再任されることができる。
- 3 役員は、任期満了の後でも、後任の役員が選任されるまでは、なおその職務を行う。

## （役員補充）

- 第9条 理事又は監事のうち、その定数の5分の1をこえるものが欠けたときは、1月以内に補充しなければならない。

## （役員解任及び退任）

- 第10条 役員が次の各号の一に該当するに至ったときは、理事総数の4分の3以上出席した理事会において、理事総数の4分の3以上の議決および評議員会の議決により、これを解任することができる。

- (1) 法令の規定またはこの寄附行為に著しく違反したとき
  - (2) 心身の故障のため職務の執行に堪えないとき
  - (3) 職務上の義務に著しく違反したとき
  - (4) 役員たるにふさわしくない重大な非行があったとき
- 2 役員は次の事由によって退任する。
    - (1) 任期の満了
    - (2) 辞任
    - (3) 学校教育法第9条各号に掲げる事由に該当するに至ったとき

## （理事長の職務）

- 第11条 理事長は、この法人を代表し、その業務を総理する。

## （理事の代表権の制限）

- 第12条 理事長以外の理事は、この法人の業務についてこの法人を代表しない。

## （理事長職務の代理等）

- 第13条 理事長に事故があるとき、又は理事長が欠けたときは、あらかじめ理事会において定めた順位に従い、理事がその職務を代理し、又はその職務を行う。

## （監事の職務）

- 第14条 監事は、次の各号に掲げる職務を行う。
- (1) この法人の業務を監査すること
  - (2) この法人の財産の状況を監査すること
  - (3) この法人の業務又は財産の状況について、毎会計年度、監査報告書を作成し、当該会計年度終了後2月以内に理事会及び評議員会に提出すること
  - (4) 第1号又は第2号の規定による監査の結果、この法人の業務又は財産に関し不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実があることを発見したときは、これを文部科学大臣に報告し、又は理事会及び評議員会に報告すること
  - (5) 前号の報告をするために必要があるときは、理事長に対して評議員会の招集を請求すること
  - (6) この法人の業務又は財産の状況について、理事会に出席して意見を述べること

## （理事会）

- 第15条 この法人に、理事をもって組織する理事会を置く。
- 2 理事会は、学校法人の業務を決し、理事の職務の執行を監督する。
  - 3 理事会は、理事長が招集する。
  - 4 理事長は、理事総数の3分の2以上の理事から会議に付議すべき事項を示して理事会の招集を請求された場合には、その請求のあった日から7日以内に、これを招集しなければならない。
  - 5 理事会を招集するには、各理事に対して、会議開催の場所及び日時並びに会議に付議すべき事項を書面により通知しなければならない。

# 情報の公表（抜粋版） ～鹿児島純心女子大学大学院～

- 6 前項の通知は、会議の7日前までに発しなければならない。ただし、緊急を要する場合はこの限りでない。
- 7 理事会に議長を置き、理事長をもって充てる。
- 8 理事会が第4項の規定による招集をしない場合には、招集を請求した理事全員が連名で理事会を招集することができる。この場合における理事会の議長は、出席理事の互選によって定める。
- 9 理事会は、この寄附行為に別段の定めがある場合を除くほか、理事総数の過半数の理事が出席しなければ、会議を開き、議決することができない。ただし、第12項の規定による除斥のため過半数に達しないときは、この限りでない。
- 10 前項の場合において、理事会に付議される事項につき書面をもって、あらかじめ意思を表示した者は、出席者とみなす。
- 11 理事会の議事は、法令及びこの寄附行為に別段の定めがある場合を除くほか、出席した理事の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 12 理事会の決議について、直接の利害関係を有する理事は、その議事の議決に加わることができない。

（業務の決定の委任）

第16条 法令及びこの寄附行為の規定により評議員会に付議しなければならない事項その他この法人の業務に関する重要事項以外の決定であって、あらかじめ理事会において定めたものについては、理事会において指名した理事に委任することができる。

（議事録）

- 第17条 議長は、理事会の開催の場所及び日時並びに議決事項及びその他の事項について、議事録を作成しなければならない。
- 2 議事録には、議長及びあらかじめ議長が指名した出席理事2人以上が署名押印し、常にこれを事務所に備えて置かなければならない。
- 3 出席理事から議事録の記載について異議のあった場合は、その申出に基づいて、次の会議にはかつて、議長がこれを確認しなければならない。

## 第4章 評議員会及び評議員

（評議員会）

- 第18条 この法人に、評議員会を置く。
- 2 評議員会は、17人以上21人以内の評議員をもって組織する。
- 3 評議員会は、理事長が招集する。
- 4 理事長は、評議員総数の3分の1以上の評議員から会議に付議すべき事項を示して評議員会の招集を請求された場合には、その請求のあった日から20日以内にこれを招集しなければならない。
- 5 評議員会を招集するには、各評議員に対して、会議開催の場所及び日時並びに会議に付議すべき事項を、書面により通知しなければならない。
- 6 前項の通知は、会議の7日前までに発しなければならない。ただし、緊急を要する場合は、この限りでない。
- 7 評議員会に議長を置き、議長は、評議員のうちから評議員会において選任する。
- 8 評議員会は、評議員総数の過半数の出席がなければ、その議事を開き、議決することができない。
- 9 前項の場合において、評議員会に付議される事項につき書面をもって、あらかじめ意思を表示した者は、出席者とみなす。
- 10 評議員会の議事は、出席した評議員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 11 議長は、評議員として議決に加わることができない。

（議事録）

第19条 第17条の規定は、評議員会の議事録について準用する。

（諮問事項）

- 第20条 次の各号に掲げる事項については、理事長において、あらかじめ評議員会の意見を聞かなければならない。
  - (1) 予算、借入金（当該会計年度内の収入をもって償還する一時の借入金を除く。）及び重要な資産の処分に関する事項
  - (2) 事業計画
  - (3) 予算外の新たな義務の負担又は権利の放棄
  - (4) 寄附行為の変更
  - (5) 合併

# 情報の公表（抜粋版） ～鹿児島純心女子大学大学院～

- (6) 目的たる事業の成功の不能による解散
- (7) 寄附金品の募集に関する事項
- (8) その他この法人の業務に関する重要事項で理事会において必要と認めるもの

（評議員会の意見具申等）

第 21 条 評議員会は、この法人の業務若しくは財産の状況又は役員の仕事執行の状況について、役員に対して意見を述べ、若しくはその諮問に答え、又は役員から報告を徴することができる。

（評議員の選任）

第 22 条 評議員は、次の各号に掲げる者とする。

- (1) 理事のうちから、理事の互選によって定められた者 5 人
  - (2) この法人の職員で理事会において選任された者 5 人
  - (3) この法人の設置する学校（その前身の学校を含む）を卒業した者で年齢 25 年以上の者のうちから、理事会において選任された者 3 人
  - (4) この法人に関係ある学識経験者及び功労者のうちから、理事会において選任された者 4 人以上 8 人以内
- 2 前項第 1 号及び第 2 号に規定する評議員は、この法人の理事の職又は職員の地位を退いたときは評議員の職を失うものとする。

（任期）

第 23 条 評議員の任期は、4 年とする。ただし、補欠の評議員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 評議員は、再任されることができる。

（評議員の解任及び退任）

第 24 条 評議員が次の各号の一に該当するに至ったときは、評議員総数の 3 分の 2 以上の議決により、これを解任することができる。

- (1) 心身の故障のため職務の執行に堪えないとき
  - (2) 評議員たるにふさわしくない重大な非行があったとき
- 2 評議員は次の事由によって退任する。
- (1) 任期の満了
  - (2) 辞任

## 第 5 章 資産及び会計

（資産）

第 25 条 この法人の資産は、財産目録記載のとおりとする。

（資産の区分）

第 26 条 この法人の資産は、これを分けて基本財産及び運用財産とする。

- 2 基本財産は、この法人の設置する学校に必要な施設及び設備又はこれらに要する資金とし、財産目録中基本財産の部に記載する財産及び将来基本財産に編入された財産とする。
- 3 運用財産は、この法人の設置する学校の経営に必要な財産とし、財産目録中運用財産の部に記載する財産及び将来運用財産に編入された財産とする。
- 4 寄附金品については、寄附者の指定がある場合には、その指定に従って基本財産又は運用財産に編入する。

（基本財産の処分の制限）

第 27 条 基本財産はこれを処分してはならない。ただし、この法人の事業の遂行上やむを得ない理由があるときは、理事会において理事総数の 3 分の 2 以上の議決を得て、その一部に限り処分することができる。

（積立金の保管）

第 28 条 基本財産及び運用財産中の積立金は確実な方法で理事長が保管する。

（経費の支弁）

第 29 条 この法人の設置する学校の経営に要する費用は、基本財産並びに運用財産中の不動産及び積立金から生ずる果実・授業料収入・入学金収入・検定料収入その他の運用財産をもって支弁する。

（会計）

第 30 条 この法人の会計は、学校法人会計基準により行う。

# 情報の公表（抜粋版） ～鹿児島純心女子大学大学院～

（予算及び事業計画）

第31条 この法人の予算及び事業計画は、毎会計年度開始前に、理事長が編成し、理事会において出席した理事の3分の2以上議決を得なければならない。これに重要な変更を加えようとするときも、同様とする。

（予算外の新たな義務の負担又は権利の放棄）

第32条 予算をもって定めるものを除くほか、新たに義務の負担をし、又は権利の放棄をしようとするときは、理事会において出席した理事の3分の2以上の議決がなければならない。借入金（当該会計年度内の収入をもって償還する一時の借入金を除く。）についても、同様とする。

（決算及び実績の報告）

第33条 この法人の決算は、毎会計年度終了後2月以内に作成し、監事の意見を求めるものとする。  
2 理事長は、毎会計年度終了後2月以内に、決算及び事業の実績を評議員会に報告し、その意見を求めなければならない。

（財産目録等の備付け及び閲覧）

第34条 この法人は、毎会計年度終了後2月以内に財産目録、貸借対照表、収支計算書及び事業報告書を作成しなければならない。  
2 この法人は、前項の書類及び第14条第3号の監査報告書を各事務所に備えて置き、この法人の設置する私立学校に在学する者その他の利害関係人から請求があった場合には、正当な理由がある場合を除いて、これを閲覧に供しなければならない。

（資産総額の変更登記）

第35条 この法人の資産総額の変更は、毎会計年度末の現在により、会計年度終了後2月以内に登記しなければならない。

（会計年度）

第36条 この法人の会計年度は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わるものとする。

## 第6章 解散及び合併

（解散）

第37条 この法人は、次の各号に掲げる事由によって解散する。  
(1) 理事会における理事総数の3分の2以上の議決及び評議員会の議決  
(2) この法人の目的たる事業の成功の不能となった場合で、理事会における出席した理事の3分の2以上の議決  
(3) 合併  
(4) 破産  
(5) 文部科学大臣の解散命令  
2 前項第1号に掲げる事由による解散にあつては文部科学大臣の認可を、同項第2号に掲げる事由による解散にあつては文部科学大臣の認定を受けなければならない。

（残余財産の帰属者）

第38条 この法人が解散した場合(合併又は破産によって解散した場合を除く。)における残余財産は、解散のときにおける理事会において出席した理事の3分の2以上の議決により選定した学校法人又は教育の事業を行う公益法人に帰属する。

（合併）

第39条 この法人が合併しようとするときは、理事会において理事総数の3分の2以上の議決を得て文部科学大臣の認可を受けなければならない。

## 第7章 寄附行為の変更

（寄附行為の変更）

第40条 この寄附行為を変更しようとするときは、理事会において出席した理事の3分の2以上の議決を得て、文部科学大臣の認可を受けなければならない。  
2 私立学校法施行規則に定める届出事項については、前項の規定にかかわらず、理事会において出席した理事の3分の2以上の議決を得て、文部科学大臣に届け出なければならない。

# 情報の公表（抜粋版） ～鹿児島純心女子大学大学院～

## 第8章 補則

（書類及び帳簿の備付）

第41条 この法人は、第34条第2項の書類のほか、次の各号に掲げる書類及び帳簿を、常に各事務所に備えて置かなければならない。

- (1) 寄附行為
- (2) 役員及び評議員の名簿及び履歴書
- (3) 収入及び支出に関する帳簿及び証憑書類
- (4) その他必要な書類及び帳簿

（公告の方法）

第42条 この法人の公告は、鹿児島純心女子学園の掲示場に掲示して行う。

（施行細則）

第43条 この寄附行為の施行についての細則その他この法人及びこの法人の設置する学校の管理及び運営に関し必要な事項は、理事会が定める。

附 則

この法人の設立当初の役員は次のとおりとする。

理事長 江角ヤス  
理 事 長谷ノブ  
理 事 酒井ミヤ子  
理 事 糸永ミサ  
理 事 八田カネ  
理 事 松下ミネ  
監 事 木村藤枝  
監 事 山田雅子

附 則

- 1 この寄附行為は昭和35年4月1日から施行する。
- 2 この寄附行為は昭和52年4月1日から施行する。
- 3 この寄附行為は昭和54年4月1日から施行する。
- 4 この寄附行為は平成2年4月1日から施行する。
- 5 この寄附行為は平成4年5月18日から施行する。
- 6 この寄附行為は平成5年3月1日から施行する。
- 7 この寄附行為は平成6年4月1日から施行する。
- 8 平成12年12月21日文科大臣認可のこの寄附行為は、平成13年4月1日から施行する。  
鹿児島純心女子大学の国際言語文化学部国際言語文化学科は改正後の寄附行為第4条第1項第1号の規定にかかわらず、平成13年3月31日に当該学部学科に在学する者が当該学部学科に在学しなくなるまでの間存続するものとする。
- 9 平成13年5月29日文科科学大臣認可のこの寄附行為の改正は、平成14年4月1日から施行する。
- 10 この寄附行為は、文科科学大臣の認可の日（平成15年11月27日）から施行する。
- 11 平成15年10月21日理事会決議のこの寄附行為は、平成16年4月1日から施行する。  
鹿児島純心女子大学の国際人間学部国際人間学科は改正後の寄附行為第4条第1号の規定にかかわらず、平成16年3月31日に当該学部学科に在学する者が卒業するまでの間存続するものとする。
- 12 平成17年3月31日文科科学大臣認可のこの寄附行為は、平成17年4月1日から施行する。
- 13 この寄附行為は、文科科学大臣の認可の日（平成18年1月31日）から施行する。
- 14 平成18年5月26日文科科学大臣認可のこの寄附行為は、平成19年4月1日から施行する。
- 15 平成19年1月26日理事会決議のこの寄附行為は、平成19年4月1日から施行する。
- 16 この寄附行為は、文科科学大臣の認可の日（平成21年3月30日）から施行する。
- 17 この寄附行為は、文科科学大臣の認可の日（平成21年6月26日）から施行する。
- 18 平成21年10月16日理事会決議のこの寄附行為は、平成22年4月1日から施行する。  
鹿児島純心女子大学国際人間学部英語コミュニケーション学科は、改正後の寄附行為第4条第1項第1号の規定にかかわらず、平成22年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
- 19 この寄附行為は、文科科学大臣の認可の日（平成27年8月17日）から施行する。
- 20 この寄附行為は、文科科学大臣の認可の日（平成28年8月3日）から施行する。
- 21 平成30年10月15日理事会決議のこの寄附行為は、平成31年4月1日から施行する。

# 情報の公表（抜粋版） ～鹿児島純心女子大学大学院～

## 学校法人鹿児島純心女子学園寄附行為施行細則（令和元年5月1日現在）

### 第1章 総則

第1条 学校法人鹿児島純心女子学園寄附行為（以下「寄」という。）の施行に関する事項はこの細則の定めるところによる。

### 第2章 理事の選任

（理事の選出）

第2条 寄第6条第1項第4号の規定による理事は、寄第22条第1項各号の規定により選任された評議員により遅滞なく互選する。

2 寄第6条第1項第5号の規定による理事は、法人の運営又は業務の執行において必要な者とする。

### 第3章 評議員の選任

（評議員の選出）

第3条 寄第22条第1項第2号より第4号までの評議員の選任に当たっては、理事長が推薦し、理事会において選出する。

（職員の定義）

第4条 寄第22条でいう職員とは、常勤の専任職員をいう。

（卒業生評議員の資格）

第5条 卒業生評議員に選任される者は、その改選期までに次の各号の一を満たさねばならない。

- (1) 学校法人鹿児島純心女子学園が併設する学校の同窓会の役員
- (2) 学校法人鹿児島純心女子学園の各種募金事業に対する協力者

（学識経験者の定義）

第6条 寄第22条第1項第4号に規定する学識経験者とは、この法人の設置する学校の運営において、高い識見を有する者とする。

（残余財産の帰属者の定義）

第7条 寄第38条に規定する学校法人又は教育の事業を行う公益法人とは、当分の間宗教法人純心聖母会を設立母体とする法人をいう。

### 附 則

- 1 この規則は、平成5年4月1日から施行する。
- 2 この規則は、平成17年4月1日から施行する。
- 3 この規則は、平成27年4月1日から施行する。

## 役員名簿（令和元年5月20日現在）

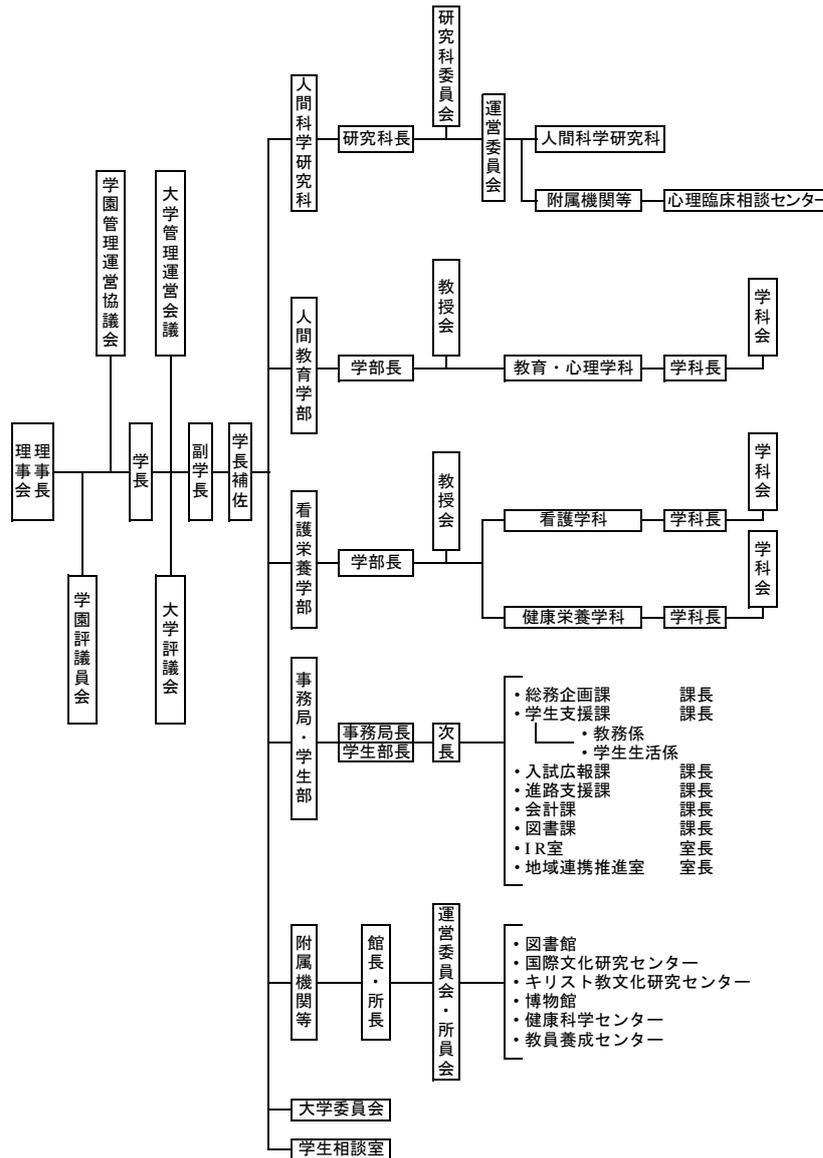
役職	氏名	職務	寄附行為条文
理事長	松下 栄子	学園理事長	第5条2項
理事	山野 アヤ子	純心聖母会総長	第6条1項1号
	松下 栄子	大学学長	第6条1項2号
	久松 久美子	中学高校校長	第6条1項3号
	早田 清子	学園経理部長	第6条1項4号
	山本 文雄	学園事務局長	第6条1項4号
	平山 久美子	短期大学学長	第6条1項4号
	古木 圭介	会社役員	第6条1項5号
	野田 健太郎	弁護士	第6条1項5号
監事	岩男 秀彦	会社役員	第7条1項
	染川 周郎	弁護士	第7条1項

学校教育法施行規則で定められた情報の公表（令和元年度）

修学上の情報

## （1）教員組織、各教員が有する学位及び業績

組織機構図（令和元年5月1日現在）



注1 教授会・・・学校教育法第93条で置くこととされている教授会は、大学院「研究科委員会」及び各学部「教授会」とする。  
 注2 大学評議会・・・学則第7条で置かれる学長の諮問機関である。

### 各教員が有する学位及び業績（令和元年5月1日現在）

大学院の専任教員（11名）についての情報を掲載 [【次ページ参照】](#)

# 情報の公表（抜粋版） ～鹿児島純心女子大学大学院～

## 教員情報

藤田 千鶴子（FUJITA Chizuko）	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 心理・文化専攻 大学院 人間科学研究科 心理臨床学専攻 ※臨床心理士
職名	教授 / 人間科学研究科長

### 【学位・業績等】

有する学位	学術博士
学位取得大学	カナダ・アルバータ大学大学院
主な担当科目	[学部] 知的障害のあるこどものカウンセリング [大学院] 臨床心理面接特論
専門分野	臨床教育学 研究方法論
主な研究テーマ	質的研究方法論、「物語る」ことの認識論的系譜 心理臨床学における現象学的アプローチの可能性
学会・社会活動	日本教育心理学会 日本心理臨床学会 日本保育学会 スクール・カウンセラー
主な業績 (教育・研究等)	「保育者の気づき」 「保育心理学 II」 第 2 部第 5 章 東京書籍 「『みる』」ことから始めるこども学—こども支援の基礎的体験学習」全国保育士養成協議会第 45 回研究大会論文集 「学校臨床再考—量的研究・質的研究・臨床現場、それぞれの知見から—」日本心理臨床学会第 29 回秋季大会自主シンポジウム 「『連携』と『協同』の概念に関する研究の概観—概念整理と心理臨床領域における今後の課題」鹿児島純心女子大学大学院人間科学研究科紀要第 7 号 「心理臨床学的研究への現象学的アプローチの貢献の可能性—個別性と普遍性に着目して—」鹿児島純心女子大学大学院人間科学研究科紀要第 10 号

# 情報の公表（抜粋版） ～鹿児島純心女子大学大学院～

## 教員情報

餅原 尚子（MOCHIHARA Takako）	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 初等・中等（英語）教育専攻 児童生徒教育コース 大学院 人間科学研究科 心理臨床学専攻 ※臨床心理士
職名	教授 / 大学院心理臨床相談センター長

### 【学位・業績等】

有する学位	文学修士
学位取得大学	鹿児島大学大学院人文科学研究科
主な担当科目	[学部] 臨床心理学、個と向き合う心理学等 [大学院] 臨床心理学特論、臨床心理面接特論、臨床心理査定演習等
専門分野	臨床心理学
主な研究テーマ	トラウマ（PTSD、CIS）、発達障害、情緒障害、精神障害、人格障害等の心理査定、心理面接に関する研究
学会・社会活動	<学会> 日本心理臨床学会・日本ロールシャッハ学会 日本人間性心理学会・日本児童青年精神医学会 など <社会的活動> 鹿児島地方労働審議会委員／鹿児島労働局発達障害者専門指導監／ 鹿児島県社会福祉審議会委員／鹿児島県教育支援委員会委員／ 公益社団法人かごしま犯罪被害者支援センター理事 など
主な業績 (教育・研究等)	<学術論文> ・性的虐待（レイプ、セクハラ・ストーカー）により、PTSD症状を呈した2症例のロールシャッハ反応(査読付 2001) ロールシャッハ研究第5巻（日本ロールシャッハ学会）p53～66 ・性犯罪被害によるPTSDの事例へのカウンセリング～信頼の絆が結ばれるまで～（査読付 2003） カウンセリング研究、第36巻、（日本カウンセリング学会）p437～445 ・救援者のストレス（PTSD、CIS）の予防とケアに関する臨床心理学的研究（2005） 平成15～17年度科学研究費補助金（若手研究B）報告書 ・ある発達障害児への児童中心遊戯療法の過程～発達の變化に視点をあてて～（2008） 鹿児島純心女子大学心理臨床相談センター紀要第3号 P19～26 ・ロールシャッハ・テスト後に急速な回復を見せたPTSDの2事例（査読付 2015） ロールシャッハ研究第19巻（日本ロールシャッハ学会）p1～10 他約80編 <著書（共著）> ・臨床心理学辞典（恩田彰・伊藤隆二編）（1999）八千代出版 ・最新・心理学序説（本明寛監修）（2002）金子書房 ・新臨床心理学（橋口英俊・滝口俊子編著）（2004）八千代出版 ・臨床心理学（2019）—「生きる意味」の確立と心理支援— 久留一郎・餅原尚子著 八千代出版 など <外部資金> ・平成15年～17年（科研費）、平成17年～19年（学術研究振興資金）、平成20年～22年（科研費）、平成23～25年（科研費）、平成26年～28年（科研費）、平成29年～31年（科研費） KAKEN: <a href="http://kaken.nii.ac.jp/d/r/70352474.en.html">http://kaken.nii.ac.jp/d/r/70352474.en.html</a>

# 情報の公表（抜粋版） ～鹿児島純心女子大学大学院～

## 教員情報

成願 めぐみ（JOGAN Megumi）	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 心理・文化専攻 大学院 人間科学研究科 心理臨床学専攻 ※臨床心理士
職名	講師

### 【学位・業績等】

有する学位	修士（心理臨床学） 修士（言語・文化）
学位取得大学	鹿児島純心女子大学大学院人間科学研究科 清泉女子大学大学院人文科学研究科
主な担当科目	[大学院] 臨床心理基礎実習、精神分析療法特論、特別研究
専門分野	心理臨床学
主な研究テーマ	パーソナリティ障害、トラウマ、箱庭療法
学会・社会活動	日本心理臨床学会 日本ロールシャッハ学会
主な業績 (教育・研究等)	論文： 「PTSD（Posttraumatic Stress Disorder）とBPD（Borderline Personality Disorder）のロールシャッハ反応にみられるトラウマの影響」、「トラウマを抱えた少女の「再生」の歩み—イメージ（心象）による回復の過程—」、「知的機能のアセスメントに関する一考察」他

# 情報の公表（抜粋版） ～鹿児島純心女子大学大学院～

## 教員情報

仲 沙織（NAKA Saori）	
所属	看護栄養学部 健康栄養学科 大学院 人間科学研究科 心理臨床学専攻 ※臨床心理士
職名	講師

### 【学位・業績等】

有する学位	博士（臨床心理学）
学位取得大学	福岡大学大学院人文科学研究科教育・臨床心理専攻博士課程後期
主な担当科目	[学部] 心理学概論、発達と教育、心理学研究法 [大学院] 臨床心理地域援助特論 障害児(者)心理学特論、臨床心理実習
専門分野	臨床心理学
主な研究テーマ	精神科アウトリーチにおける臨床心理学的地域援助に関する研究 多職種協働に関する研究
学会・社会活動	<学会> 日本心理臨床学会、日本人間性心理学会、日本保健福祉学会、日本コラージュ療法学会 など
主な業績 (教育・研究等)	<論文> 米国・英国における地域精神医療のあゆみー臨床心理士の役割に注目してー (2014) 福岡大学臨床心理学研究、第 13 巻、p3-10. 我が国における地域精神医療のあゆみー臨床心理士の役割に注目してー (2014) 福岡大学臨床心理学研究、第 13 巻、p11-18. 「包括型地域生活支援プログラム」従事者が心理職に求めることーあるチームの半構造化面接からー (2015) 福岡大学大学院論集、第 47 巻第 1 号、p33-51. 「包括型地域支援プログラム」における臨床心理士の役割と今後の課題ー半構造化面接の分析からー (2015) 福岡大学臨床心理学研究、第 14 巻、p17-23. 「包括型地域生活支援プログラム」従事者が心理職に求めることー質問紙調査を用いてー (2016) 病院・地域精神医学、第 58 巻第 3 号、p277-285. アウトリーチサービス利用者のニーズから見た心理職の可能性の検討 (2016) 日本保健福祉学会誌、第 23 巻第 1 号、p65-72. 臨床心理士養成大学院における学外実習の現状についてー医療領域のアウトリーチの視点から課題を探るー (2018) 人間科学研究科紀要、第 13 号、p3-10. 精神科アウトリーチにおける臨床心理士の支援に関するー考察ー10 の事例から見たものー (2018) 心理臨床学研究、第 36 巻第 2 号、p120-130. アウトリーチにおける心理職の支援の実際 (2018) 日本保健福祉学会誌、第 25 巻第 1 号、p9-20. 強迫症状を訴える 50 代女性との面接過程ーコラージュ・ボックス法を通してー (2019) 国際人間学部紀要、第 25 号、p71-91.

# 情報の公表（抜粋版） ～鹿児島純心女子大学大学院～

## 教員情報

中村 誠文（NAKAMURA Masafumi）	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 心理・文化専攻 大学院 人間科学研究科 心理臨床学専攻 ※臨床心理士・公認心理師
職名	講師

### 【学位・業績等】

有する学位	心理臨床学修士
学位取得大学	鹿児島純心女子大学大学院
主な担当科目	[学部] 公認心理師の職責、社会・集団・家族心理学 [大学院] 家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と方法
専門分野	臨床心理学 家族療法・短期療法
主な研究テーマ	不登校支援における心理臨床家の役割に関する研究 シングル・セッションに関する研究 心理臨床における「連携」と「協働」に関する研究
学会・社会活動	日本心理臨床学会 家族心理学会 鹿児島精神神経学会 九州心理学会
主な業績 (教育・研究等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「連携」と「協働」の概念に関する研究の概観—概念整理と心理臨床領域における今後の課題— 鹿児島純心女子大学大学院人間科学研究科紀要第7号（共著）</li> <li>・心理臨床学的研究への現象学的アプローチの貢献への可能性—個別性と普遍性に着目して— 鹿児島純心女子大学大学院人間科学研究科紀要第10号（共著）</li> <li>・教育現場における心理臨床家の役割—教員への不登校支援に視点をあてたアンケート調査から— 鹿児島純心女子大学大学院人間科学研究科紀要第10号</li> <li>・拘束と記述から得られるもの—ベイトソンの認識論から— International Journal of Brief Therapy and Family Science (I.J.B.F.) Vol. 5, No. 1（共著）</li> <li>・障害児支援の変遷と今後の可能性について—「連携」に視点をあてて— 鹿児島純心女子大学大学院人間科学研究科紀要第11号</li> <li>・スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーによる連携・協働に関する—考察 鹿児島純心女子大学こども発達臨床センター紀要第8号</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>

# 情報の公表（抜粋版） ～鹿児島純心女子大学大学院～

## 教員情報

野村 亮太（Nomura Ryota）	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 心理・文化専攻 大学院 人間科学研究科 心理臨床学専攻
職名	講師

### 【学位・業績等】

有する学位	修士（心理学），博士（心理学），博士（工学）
学位取得大学	九州大学大学院，九州大学大学院，東京理科大学大学院
主な担当科目	基礎心理学，学習・言語心理学
専門分野	心理学
主な研究テーマ	噺家の熟達化
学会・社会活動	日本笑い学会，日本認知科学会，日本心理学会，日本教育心理学会
主な業績 (教育・研究等)	<p>Nomura, R., Liang, Y.-Z., Morita, K., Fujiwara, K., Ikeguchi, T. (2018). Threshold-varying integrate-and-fire model reproduces distributions of spontaneous blink intervals. PLoS ONE 13(10): e0206528.</p> <p>Nomura, R., Hino, K., Shimazu, M., Liang, Y., &amp; Okada, T. (2015). Emotionally excited eyeblink-rate variability predicts an experience of transportation into the narrative world. Frontiers in Psychology doi: 10.3388/fpsyg.2015.0447.</p> <p>野村亮太・岡田猛(2014) 話芸鑑賞時の自発的なまばたきの同期 認知科学, 21(2), 226-244.</p> <p>&lt;著書(単著)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラミング思考のレッスン 「私」を有能な演算装置にする(2019) 集英社新書</li> <li>・口下手な人は知らない話し方の極意 認知科学で「話術」を磨く(2016) 集英社新書</li> </ul>

# 情報の公表（抜粋版） ～鹿児島純心女子大学大学院～

## 教員情報

山本 英次（YAMAMOTO Eiji）	
所属	看護栄養学部 看護学科、 大学院 人間科学研究科 心理臨床学専攻
職名	教授

### 【学位・業績等】

有する学位	医学博士
学位取得大学	鹿児島大学医学部
主な担当科目	[学部] 生活調整援助論（病態編）、こども成育論 [大学院] 小児医学特論
専門分野	小児循環器病学 小児科学
主な研究テーマ	看護教育における病態生理の理解度の向上に関する研究
学会・社会活動	所属学会：日本小児科学会 日本小児循環器学会 社会活動：鹿児島市学校心臓検診協力医
主な業績 (教育・研究等)	1) 臨地実習における感染防止対策—麻疹・風疹・ムンプス・水痘の抗体保有率 2) ACLS 対応のステップアップ学習～学習プログラムの概要ならびに1年目の報告 3) ACLS 対応のステップアップ学習～2年目の学習プログラムの概要ならびに成果報告 4) ACLS 対応のステップアップ学習～3年目の学習プログラムの概要ならびに成果報告 5) ACLS 対応のステップアップ学習～4年目の学習プログラムの概要ならびに成果報告

# 情報の公表（抜粋版） ～鹿児島純心女子大学大学院～

## 教員情報

岩田 真一（IWATA shin-ichi）	
所属	看護栄養学部 健康栄養学科 大学院 人間科学研究科 心理臨床学専攻
職名	教授

### 【学位・業績等】

有する学位	医学博士
学位取得大学	鹿児島大学医学部
主な担当科目	〔学部〕 医療概論、解剖生理学、看護薬理学 〔大学院〕 精神薬理学特論
専門分野	神経内科、薬理学
主な研究テーマ	パーキンソン病
学会・社会活動	神経内科専門医（指導医） 日本薬理学会学術評議員 日本神経精神薬理学会評議員 総合内科専門医
主な業績 （教育・研究等）	Parkinson 病の痛み. 神経内科 66 : 94-97, 2007.  Delayed L-DOPA-induced hyperalgesia. Pharmacol. Biochem. Behav. 85: 643-647, 2006.  Administration of haloperidol and biperiden reduces mRNAs related to the ubiquitin-proteasome system in mice. Synapse 56: 175-184, 2005.  Antinociceptive mechanism of L-DOPA. Pain 110: 246-249, 2004.  Gene expression profiling in the midbrain of striatal 6-hydroxy-dopamine-injected mice. Synapse 51: 279-286, 2004.

# 情報の公表（抜粋版） ～鹿児島純心女子大学大学院～

## 教員情報

口岩 俊子（KUCHIIWA Toshiko）	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 初等・中等（英語）教育専攻 こども発達コース 大学院 人間科学研究科 心理臨床学専攻
職名	教授

### 【学位・業績等】

有する学位	医学博士
学位取得大学	弘前大学大学院医学研究科博士課程
主な担当科目	[学部] 人体探検科学、小児保健 [大学院] 神経学特論
専門分野	脳科学、神経解剖学
主な研究テーマ	実験動物における鬱症状の定量的評価の試み ダイオキシン胎盤・母乳暴露による脳への影響について
学会・社会活動	日本神経科学会、日本解剖学会、日本薬理学会
主な業績 (教育・研究等)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Evaluation of aggressiveness of female mice using a semi-automated apparatus for measurement of aggressive biting behavior toward an inanimate object. Toshiko Kuchiiwa &amp; Satoshi Kuchiiwa Neurosci Meth., 257(2016)179-184.</li> <li>2. A novel semi-automated apparatus for measurement of aggressive biting behavior in mice. Satoshi Kuchiiwa &amp; Toshiko Kuchiiwa Neurosci Meth., 228(2014)27-34.</li> <li>3. 頭頸部の自律神経 口岩 聡、口岩 俊子 JOHNS,30(2014)1403-1407</li> <li>4. 光を見るとくしゃみが出るのはなぜですか？ 口岩 聡、口岩 俊子 Clinical Neurosci., 33(2015)479</li> <li>5. 特許第4858996号 【発明の名称】 刺激応答計測装置および刺激応答計測方法 【日本国登録日】 2011年11月11日</li> </ol>

# 情報の公表（抜粋版） ～鹿児島純心女子大学大学院～

## 教員情報

小島 摩文（KOJIMA Mabumi）	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 初等・中等（英語）教育専攻 こども発達コース 大学院 人間科学研究科 心理臨床学専攻
職名	教授 / 博物館長

### 【学位・業績等】

有する学位	文学修士
学位取得大学	鹿児島大学大学院
主な担当科目	[学部] 民俗学、こども文化概論、博物館情報・メディア論 [大学院] 文化人類学特論
専門分野	民俗学、民具学、博物館学
主な研究テーマ	民具研究、物質文化研究、 馬と人の関わり
学会・社会活動	日本民俗学会会員、日本民具学会会員、日本文化人類学会会員 鹿児島民俗学会会員、鹿児島民具学会副会長、比較民俗学会会員 日本生活科・総合的学習教育学会
主な業績 (教育・研究等)	「馬」『図録 メコンの世界 -歴史と生態-』秋道智彌編 弘文堂 2007 「塩と茶の交易史」（共著）『地域の生態史 [モンスーンアジアの生態史第2巻]』ダニエルス・クリスチャン編 弘文堂 2008 弘文堂 (2008/5/16) 「在宅と外在化」『死の儀法—在宅死に見る葬の礼節・死生観』近藤功行編 ミネルバ書房 2008 04 「民具学としての物質文化研究」『国際常民文化研究叢書3』神奈川大学 国際常民文化研究機構 2013 「アチックフィルムにみる民具」『国際常民文化研究叢書10』神奈川大学 国際常民文化研究機構 2015 「馬具の種類と名称について—データベース化のための標準名を考える—」『神奈川大学 国際常民文化研究機構 年報 第5号』2015

# 情報の公表（抜粋版） ～鹿児島純心女子大学大学院～

## 教員情報

井上 祐子（INOUE Yuko）	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 初等・中等（英語）教育専攻 こども発達コース 大学院 人間科学研究科 心理臨床学専攻
職名	准教授

### 【学位・業績等】

有する学位	博士（社会福祉学）
学位取得大学	同志社大学大学院社会学研究科社会福祉学専攻博士後期課程修了
主な担当科目	[学部] 保育実習、保育実践演習、保育内容（人間関係）の理論と方法 [大学院] 福祉行政総論
専門分野	ソーシャルワーク論、社会福祉教育・実習、高齢者福祉、児童福祉
主な研究テーマ	福祉人材の職務体制の継続的サポートに関する研究
学会・社会活動	日本社会福祉学会、日本社会福祉士会、日本学校ソーシャルワーク学会、同志社大学社会福祉学会、日本社会福祉教育学会
主な業績 （教育・研究等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「保育者効力感測定尺度の開発過程に関する批判的論評」井上祐子・高橋順一・中嶋和夫・黒木保博『鹿児島純心女子大学国際人間学部紀要』25、2019、pp.1-29.</li> <li>• 「保育者のケアリング測定尺度の開発過程に関する批判的論評」井上祐子・高橋順一・中嶋和夫・黒木保博『鹿児島純心女子大学国際人間学部紀要』25、2019、pp.31-47.</li> <li>• 「保育所保育指針における第4次改定の意義と課題」井上祐子『鹿児島純心女子大学こども発達臨床センター紀要』10、2019、pp.1-13.</li> <li>• 「生活困窮者自立支援法における就労支援の現状と課題」井上祐子『鹿児島純心女子大学こども発達臨床センター紀要』8、2016、pp.47-54.</li> <li>• 「高齢者を在宅介護する子育て世代への介護者支援に関する研究動向と課題」井上祐子『鹿児島純心女子大学国際人間学部紀要』22、2016、pp.1-18.</li> <li>• 「保育者効力感に関する研究動向と課題」井上祐子『鹿児島純心女子大学国際人間学部紀要』20、2014、pp.47-62.</li> <li>• 「Deci 理論を基礎とする高齢者福祉施設の生活相談員の職務満足度に関する検討」井上祐子・黒木保博『社会福祉学』51(4)、2011、pp.91-103.</li> <li>• 「高齢者福祉施設生活相談員が必要と認知する対人福祉サービスの構造化」井上祐子『評論・社会科学』93、2010、pp.67-80.</li> <li>• 「ソーシャルワーカーの業務に関する先行研究の整理と課題」井上祐子『同志社大学大学院社会福祉学論集』23、2009、pp.15-26.</li> <li>• 「属性アプローチに関する先行研究の整理と課題」井上祐子『同志社大学大学院社会福祉学論集』22、2008、pp.14-24.</li> </ul>

学校教育法施行規則で定められた情報の公表（令和元年度）

修学上の情報

## (2) 入学者に関する受入方針、入学者数、収容定員、在学者数、卒業(修了)者数、進学者数、就職者数

### 入学者に関する受入方針（令和元年5月1日現在）

人間科学研究科 心理臨床学専攻では、次のような人を求める。（2019年度学生便覧から抜粋）

1. 心理臨床学のみならず、幅広い知識と教養（社会的常識）をもつ人
2. 他者の気持ちを想像し、場の雰囲気や状況をよみ、自らの意志や感情を表現し、相互に伝えあい、理解しあえる素養をもつ人
3. 心理臨床家として有為な存在となるべく、主体的で謙虚さをもった人

### 入学者数、収容定員、在学者数（令和元年5月1日現在）

研究科	専攻	入学定員	入学者数	収容定員	在学者数
人間科学研究科	心理臨床学専攻	10	5	20	12

### 修了者数、就職者数、進学者数（令和元年5月1日現在）

研究科	専攻	修了者数	就職希望者数	就職者数	進学者数
人間科学研究科	心理臨床学専攻	6	5	5	0

※修了者数は平成31年3月31日現在

学校教育法施行規則で定められた情報の公表（令和元年度）

修学上の情報

## （3）授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業計画（シラバス又は年間授業計画の概要）

### 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業計画（令和元年5月1日現在）

各科目の名称、授業形態、内容（展開計画）はシラバスに明示しており、年間計画（各曜日の授業回数、祝日等に伴う授業曜日変更を併記）と共に学生便覧巻末に掲載している。 **【次ページ参照】**

# 情報の公表（抜粋版） ～鹿児島純心女子大学大学院～

2019年度 大学院学生便覧

【2019：鹿児島純心女子大学大学院 - 1年生 - 専門領域】

科目名 Subject Name	臨床心理学特論	配当年次 Assigned Year	1年	開講時期 Semester	通年
担当教員 Instructor	餅原 尚子	授業形態 Lecture Seminar and Practice	講義	単位数 Credits	4
関連資格 Related Qualification		備考 Notes	課題（試験やレポート等）については、フィードバックを行う。 ただし、単位認定試験（レポート等）については、予め科目担当者が指定した期限内に申し出のあった学生のみ対応する。		

到達目標 Class Objectives	臨床心理学の活動は病院臨床、学校臨床、福祉臨床、産業臨床、司法臨床など多岐にわたる。臨床心理学の各専門領域において「見立て」としての臨床的知見を深めることが重要である。そのためICD、DSMを中心にクライアントの精神病理を臨床心理学的側面から理解することを到達目標とする。				
授業の 展開計画  Outline of Class Sessions	精神科病院、スクール・カウンセリング、被害者・被災者支援、メンタルヘルス（公務員、企業、支援施設等）の臨床心理士としての実務経験を活かした内容になる。 前期は、DSM、ICDをベースに、精神病理を臨床心理学的側面から理解する。 後期は、現代の精神病理現象を概観し、心理臨床家としてのありようを洞察（自己洞察）できるよう、講義を展開する。				
	回	内 容			
	1	<臨床心理学の歴史> ・人間観、臨床観と変遷 ・倫理とスーパーヴィジョン ・治療構造（外的治療構造/内的治療構造）			
	2	<神経発達障害群> ・知的能力障害群 ・コミュニケーション障害群（言語障害、吃音）			
	3	・自閉症スペクトラム障害			
	4	・注意欠如・多動性障害 ・限局性学習症 ・運動障害群（チック障害群）			
	5	<統合失調症スペクトラム障害および他の精神病性障害群> ・統合失調型（パーソナリティ）障害 ・統合失調症 ・妄想性障害 ・統合失調感情障害			
	6	<双極性障害および関連障害群> ・双極Ⅰ型障害 ・気分循環性障害 ・双極Ⅱ型障害			
	7	<抑うつ障害群> ・重篤気分調節症 ・気分変調症 ・うつ病/大うつ病性障害			
	8	<不安障害群> ・分離不安障害 ・社交不安障害 ・選択性緘黙 ・パニック障害			
	9	<強迫性障害および関連障害群> ・強迫性障害 ・拔毛症 ・身体醜形障害			
	10	<心的外傷およびストレス因関連障害群> ・反応性愛着障害 ・心的外傷後ストレス障害 ・適応障害 ・脱抑制型対人交流障害 ・急性ストレス障害			
	11	<解離性障害群><身体症状および関連症群> ・解離性同一性障害 ・離人感・現実感消失障害 ・病気不安症 ・虚偽性障害 ・解離性健忘 ・身体症状症 ・転換性障害			
	12	<食行動障害および摂食障害群> ・異食症 ・神経性やせ症 ・反芻性障害 ・神経性過食症			
	13	<排泄症群><睡眠-覚醒障害群><性的違和> ・遺尿症 ・不眠障害 ・ナルコレプシー ・遺糞症 ・過眠障害 ・性別違和			
14	<秩序破壊的・衝動抑制・素行症群> ・反抗挑戦性障害 ・素行障害 ・放火症 ・間欠性爆発性障害 ・反社会性パーソナリティ障害 ・窃盗症				

# 情報の公表（抜粋版） ～鹿児島純心女子大学大学院～

2019年度 大学院学生便覧

【2019：鹿児島純心女子大学大学院 - 1年生 - 専門領域】

科目名：臨床心理学特論

	回	内 容
授業の 展開計画  Outline of Class Sessions	15	<神経認知障害群> ・せん妄 ・認知症
	16	<パーソナリティ障害群> A 群パーソナリティ障害 ・妄想性パーソナリティ障害 ・スキゾイドパーソナリティ障害 ・統合失調型パーソナリティ障害
	17	B 群パーソナリティ障害 ・反社会性パーソナリティ障害 ・境界性パーソナリティ障害 ・演技性パーソナリティ障害 ・自己愛性パーソナリティ障害
	18	C 群パーソナリティ障害 ・回避性パーソナリティ障害 ・依存性パーソナリティ障害 ・強迫性パーソナリティ障害
	19	<ICD と DSM> それぞれの診断基準の特徴
	20	<現代人の精神病理> ・異常な人間：虚偽の自己 ・自閉的人間：種としての人間
	21	・催眠・暗示にかかった人間：本物と偽物 ・劣等感：対人関係におかれた人間
	22	・権威主義的人間 ・現代人の孤独：専門化の暴力
	23	・集団化する人間：均一的な人間 ・人間関係の破壊：非人間化
	24	・組織にあやつられた人間：作為体験 ・神経症からの逃走：神経症にならぬ人々
	25	・精神的常同症：主観主義的人間 ・瞬間的人間：コルサコフ症候群
	26	・マスコミの中の人間：機械的人間 ・人間を「みる」眼
	27	<心理臨床家としての倫理> ・心理臨床家の人格と欲求、価値観についての自覚とそれらによる影響
	28	・守秘 ・境界の管理と多重関係
	29	・専門家としての能力と訓練 ・スーパービジョン
	30	・理論と実践と研究の倫理 ・「査定」と「診断」 ・治療における責任分担 ・カウンセリングの目標 ・カウンセリングにおける技法の使用 ・研究における倫理的問題
	31	
32		
履修上の注意事項 Remarks	臨床心理学とは何か、あらかじめ十分に理解しておくこと。	
準備学習 Preparation	テキストと参考文献は常時携帯し、購読の上、次回までに自身の見解を準備しておくこと。	
評価方法 Evaluation Method	到達目標について、ある事例等の「見立て」について相互に討論したり、レポートの内容によって評価する。発表内容 30%、関心・意欲の程度をみる講義への取り組み 40%、精神病理を鑑みて自己洞察できたかどうかをみる学期末の課題レポート 30%	
テキスト Materials	*教科書は、大学院の講義のみならず、心理臨床に関する就職後も使用するものである。 久留一郎・餅原尚子著 (2019) 『臨床心理学-「生きる意味の確立」と心理支援-』(全員購入) 大塚義孝ら監修 (2004) 『臨床心理学原論』誠信書房 (全員購入) APA(高橋三郎/大野裕監訳) (2014) 『DSM-5 精神疾患の分類と診断の手引き』医学書院 (全員購入) WHO (融道夫他訳) (2005) 『ICD-10 精神および行動の障害-臨床記述とガイドライン』医学書院 (全員購入) 三浦四郎衛他著 (2006) 『精神科ポケット辞典 (新訂版)』弘文堂 (全員購入) 伊藤隆二他編 (1999) 『臨床心理学辞典』八千代出版 (全員購入) ジェラルド・コウリーら著 (村本詔司監訳) (2004) 『援助専門家のための倫理問題ワークブック』創元社 (全員購入)	
参考文献 References	越賀一雄 (1964) 『異常の人間：精神病理学的人間論』誠信書房	

# 情報の公表（抜粋版） ～鹿児島純心女子大学大学院～

2019年度 大学院学生便覧

【2019：鹿児島純心女子大学大学院 - 1年生 - 専門領域】

科目名 Subject Name	臨床心理面接特論 I（心理支援に関する理論と実践）	配当年次 Assigned Year	1年	開講時期 Semester	前期
担当教員 Instructor	藤田 千鶴子	授業形態 Lecture Seminar and Practice	講義	単位数 Credits	2
関連資格 Related Qualification		備考 Notes	課題（試験やレポート等）については、フィードバックを行う。 ただし、単位認定試験（レポート等）については、予め科目担当者が指定した期限内に申し出のあった学生のみ対応する。		

到達目標 Class Objectives	スクールカウンセリング（SC）を含む学校臨床について、一般的な情報を獲得するとともに、SCとしてのみならず臨床家としての基本的な心理臨床技法、その背景にある理論についての知見を身につける。また、教師、スクールソーシャルワーカー等、学内、学外諸機関との連携、協働のありかたについての実際を学び、自身の実践の基礎として応用できるようにする。	
授業の 展開計画  Outline of Class Sessions	参加院生の研究領域に従って、授業でとりあげる心理療法、およびそれらの技法による事例検討の少なくとも2回のプレゼンテーションをおこなうことを基本とする。また自身以外のプレゼンテーションに積極的に参加することを通して、さまざまな技法に親しみ、それぞれの特徴を学ぶ。	
	回	内 容
	1	第1回 コースの目的、課題、評価方法等についての説明
	2	第2回 学校とは(1)：教育システムとしての学校 学校とは(2)：法的根拠
	3	第3回 学校とは(3)：“文化”としての学校
	4	第4回 学校臨床：スクールカウンセラーおよびスクールソーシャルワーカーの歴史
	5	第5回 学校臨床：SCが対処すること。スクールソーシャルワーカー、教師との連携、協働のありかた
	6	第6回 学校臨床と面接技法(1)：来談者中心療法
	7	第7回 学校臨床と面接技法(2)：精神分析
	8	第8回 学校臨床と面接技法(3)：遊戯療法
	9	第9回 学校臨床と面接技法(4)：遊戯療法
	10	第10回 学校臨床と面接技法(5)：認知行動療法
	11	第11回 学校臨床と面接技法(6)：ナラティブセオリー
	12	第12回 学校臨床と面接技法(7)：家族療法
	13	第13回 学校臨床の事例検討(1)：来談者中心療法、遊戯療法
	14	第14回 学校臨床の事例検討(2)：家族療法
	15	第15回 学校臨床の事例検討(3)：認知行動療法
16		
履修上の注意事項 Remarks	参加院生の研究領域に従って、面接技法、学校臨床における自身の領域についての知識と技法を深めるための機会に資することを期待する。	
準備学習 Preparation	面接技法、事例検討の双方でプレゼンテーションを行うこととする。その他にも、毎回の内容について、積極的にディスカッションに参加することを前提とする。	
評価方法 Evaluation Method	最低2回のプレゼンテーションと最終レポート	
テキスト Materials	適宜紹介する	
参考文献 References	随時配布する	

# 情報の公表（抜粋版） ～鹿児島純心女子大学大学院～

2019年度 大学院学生便覧

【2019：鹿児島純心女子大学大学院 - 1年生 - 専門領域】

科目名 Subject Name	臨床心理面接特論Ⅱ	配当年次 Assigned Year	1年	開講時期 Semester	後期
担当教員 Instructor	餅原 尚子	授業形態 Lecture Seminar and Practice	講義	単位数 Credits	2
関連資格 Related Qualification		備考 Notes	課題（試験やレポート等）については、フィードバックを行う。 ただし、単位認定試験（レポート等）については、予め科目担当者が指定した期限内に申し出のあった学生のみ対応する。		

到達目標 Class Objectives	現実の困難や複雑な問題に直面している人々への臨床心理面接の具体的方法論について学ぶ。主要な3つのオリエンテーション（学派）の共通性と差異性に視点を当てる。特に人間学的心理療法を理解し、心理臨床の支援を行うための基本的姿勢、治療構造的支援、支援する側の「視座」等、基本的態度および基礎的技法を体系的に学習し、さまざまな心理臨床の領域につなげる。さらに、スーパーヴィジョンの重要性を学び、人間の心理的世界を理解する資質を養うことができることを目標とする。				
授業の 展開計画  Outline of Class Sessions	精神科病院、大学相談室（臨床心理面接、臨床心理査定、遊戯療法等）、被害者・被災者支援、メンタルヘルス（公務員、会社員、支援員等）等の臨床心理士としての実務経験に基づく業務の実際を活かした内容になる。発表を中心とし、個人の間観、治療観を育む。さらに心理臨床領域と対象に応じた臨床心理面接へと展開していく。				
	回	内 容			
	1	＜治療構造＞ ・内的治療構造 ・外的治療構造			
	2	＜臨床心理面接における主要な3つのオリエンテーション（学派）の症状のとらえ方と治療仮説＞ ・精神分析的アプローチ ・人間学的アプローチ ・認知・行動論的アプローチ			
	3	＜人間学的アプローチ＞ ・人間学的心理療法の治療仮説と基本姿勢 ・関主観的關係 ・現象学的理解 ・「我と汝」の出会い的關係 ・了解することの意味			
	4	・ロジャーズ：現象学的心理学 来談者中心療法の治療仮説			
	5	・アクスライン ・ムスターカス 遊戯療法の治療仮説			
	6	・マスロー：自己実現理論			
	7	・フランクル 実存分析（ロゴセラピー）の治療仮説			
	8	・ヤスパース：精神病理学			
	9	＜心理臨床の領域と対象＞ ・学校臨床（スクール・カウンセリング、学生相談） コンサルテーション 緊急支援（事件・事故・災害）			
	10	・病院臨床 集団精神療法 HIV/AIDS カウンセリング			
	11	・被害者臨床 ポスト・トラウマティック・カウンセリング 心理教育 ポスト・トラウマティック・プレイセラピー advocatorとしての役割			
	12	・産業臨床 発達障害者・精神障害者への就労支援 自殺への対応 肉体労働・頭脳労働・感情労働とメンタルヘルス			
	13	＜スーパーヴィジョン＞ ・スーパーヴィジョンの役割と目的 ・スーパーヴィジョンと人間理解・人間の成長			
	14	・コンサルテーション ・事例検討会 ・ケース・カンファレンス ・臨床指導			
	15	・スーパーヴィジョンの実際			
16					
履修上の注意事項 Remarks	臨床心理面接技法についての知識と技法を深めるための機会に資することを期待する。				
準備学習 Preparation	テキストと参考文献は購読の上、次回までに自分の見解を準備しておくこと。				
評価方法 Evaluation Method	到達目標について、3つのオリエンテーションについて述べ、治療仮説、治療構造、視座、スーパーヴィジョンの重要性について感得しているかどうかを評価する。発表内容（30%）、関心・意欲の程度をみる講義への取り組み（40%）、3つのオリエンテーション、治療仮説、治療構造、視座、スーパーヴィジョンの重要性を理解できたかをみる学期末の課題レポート（30%）の総合評価とする。				
テキスト Materials	伊藤良子編（2004）『臨床心理面接技法1』誠信書房 久留一郎・餅原尚子著（2019）『臨床心理学－「生きる意味」への心理支援－』八千代出版				
参考文献 References	乾吉佑ら編（2005）『心理療法ハンドブック』創元社 シュルツ著（上田吉一監訳）（1982）『健康な人格』川島書店 ジェラルド・コウリーら著（村本詔司監訳）（2004）『援助専門家のための倫理問題ワークブック』 下山晴彦編（2003）『臨床心理実習』誠信書房				

# 情報の公表（抜粋版） ～鹿児島純心女子大学大学院～

2019年度 大学院学生便覧

【2019：鹿児島純心女子大学大学院 - 1年生 - 専門領域】

科目名 Subject Name	臨床心理査定演習 I (心理的アセスメントに関する 理論と実践)	配当年次 Assigned Year	1年	開講時期 Semester	前期
担当教員 Instructor	餅原 尚子, 成願 めぐみ	授業形態 Lecture Seminar and Practice	演習	単位数 Credits	2
関連資格 Related Qualification		備 考 Notes	課題(試験やレポート等)については、 フィードバックを行う。 ただし、単位認定試験(レポート等) については、予め科目担当者が指定し た期限内に申し出のあった学生のみ 対応する。		

到達目標 Class Objectives	<p>心理臨床におけるアセスメントについて、その意義と理論・方法について学習する。さらに、心理臨床に関する相談、助言、指導等への応用・実践について理解することがねらいである。</p> <p>1.心理アセスメントを「する側」と「受ける側」のありようについて理解することができる。</p> <p>2.知能検査、発達検査をはじめ質問紙法、投映法、作業法について、「第一水準レベル」「第二水準レベル」「第三水準レベル」で理解し、適切なテスト・バッテリーを組み、所見を書くことができる。</p> <p>3.心理検査の施行上の留意点、教示の与えかたの注意、反応の記録の取り方、質疑のポイント、スコアリングを学び、結果を出すことができる。</p>				
授業の 展開計画  Outline of Class Sessions	「自分」を被検者に、心理検査の受検体験をし、分析、解釈を試みる。さらに、実際のケースを通して、心理検査の実施方法、分析、解釈の方法を学べるような演習とする。なお、実際のケースについては、精神科病院等における臨床心理士(餅原担当)としての実務経験に基づく業務の実際を活かした内容になる。				
	回	内 容			
	1	ウェクスラー法体験(餅原、成願) ・「自分」を被検者に、Wechsler法を体験する。			
	2	ロールシャッハ・テスト体験(餅原、成願) ・「自分」を被検者にロールシャッハ・テストを体験する。			
	3	心理検査の受検体験(成願) ・Y-G 性格検査、CMI(健康調査票)、TEG(東大式エゴグラム)、MAS(顕在性不安検査)、SDS(自己評価式抑うつ性尺度)、SCT(文章完成法テスト)、P-Fスタディを体験する。			
	4	人間理解の方法(心理的アセスメントの意義、理論と方法)(餅原) ・面接法 ・観察法 ・心理検査法			
	5	心理検査を「する側」と「受ける側」の関係のありよう(餅原) ・「する側」の倫理 ・「する側」の専門性(必須のスーパーヴィジョン) ・「受ける側」の心理的、身体的、環境的条件			
	6	心理検査の種類(成願) ・知能検査、発達検査、質問紙法、投映法、作業法 ・第一水準レベル、第二水準レベル、第三水準レベル			
	7	テスト・バッテリーの組み方(餅原) ・情緒障害(不登校・登校拒否、選択性緘黙症等)の事例 ・発達障害、知的障害の事例 ・精神障害の事例 ・人格障害の事例			
	8	知能検査の理論と方法(成願) ・実施方法 ・分析方法			
	9	ビネー法(成願) ・実施方法 ・分析方法			
	10	ウェクスラー法(WISC)(成願) ・実施方法			
	11	ウェクスラー法(WISC)(成願) ・分析方法			
	12	ウェクスラー法(WAIS)(成願) ・実施方法			
	13	ウェクスラー法(WAIS)(成願) ・分析方法			
	14	発達検査の理論と方法(成願) ・実施方法 ・分析方法			
15	投映法(餅原) ・TAT ・ロールシャッハ・テスト				
16	ロールシャッハ・テスト(餅原) ・クロッパー法 ・ベック法				

# 情報の公表（抜粋版） ～鹿児島純心女子大学大学院～

2019年度 大学院学生便覧

【2019：鹿児島純心女子大学大学院 - 1年生 - 専門領域】

科目名：臨床心理査定演習Ⅰ（心理的アセスメントに関する理論と実践）

	回	内 容
授業の 展開計画  Outline of Class Sessions	17	ロールシャッハ・テスト（餅原） ・エクスマー法 ・片口法 ・阪大法
	18	ロールシャッハ・テスト（餅原） ・実施方法
	19	ロールシャッハ・テスト（成願） ・スコアリングの方法 反応数、初発反応時間 反応領域
	20	ロールシャッハ・テスト（成願） ・スコアリングの方法 決定因
	21	ロールシャッハ・テスト（成願） ・スコアリングの方法 形態水準 平凡反応
	22	ロールシャッハ・テスト（成願） ・スコアリングの方法 反応内容 感情カテゴリー
	23	ロールシャッハ・テスト（餅原） ・スコアリングの方法 思考・言語カテゴリー
	24	ロールシャッハ・テスト（餅原） ・分析と解釈
	25	ロールシャッハ・テスト（餅原） ・総合解釈の試み
	26	ロールシャッハ・テスト（餅原） ・解釈事例（1）
	27	ロールシャッハ・テスト（餅原） ・解釈事例（2）
	28	ロールシャッハ・テスト（餅原） ・所見の書き方
	29	ロールシャッハ・テスト（餅原） ・所見を書く 被験者体験を通して、その結果を自己分析、解釈し、自己洞察から他者理解（査定）への手がかりを得る
	30	ウェクスラー法体験結果のまとめ（餅原） ・所見を書く
	31	
32		
履修上の注意事項 Remarks	テキストを熟読しておくこと。 テキスト・配布資料等は、必ず封筒等に入れ、管理を徹底すること。	
準備学習 Preparation	第1回目、第2回目までは、予習をしないこと。 第2回目以降は、テキストを熟読し、専門用語等を調べ、スコアリングを自分で試みてみること。 毎回の演習後は、スコアリングの確認をし、分析・解釈について習熟しておくこと。 2年次には、「復習」として、1年次生へのティーチング・アシスタントをすること。	
評価方法 Evaluation Method	到達目標に対して、「する側」と「受ける側」のロールプレイ等を通し、「自分」を被験者にした所見によって評価する。特に、発表 25%、関心・意欲の程度をみる演習への取り組み 35%、所見作成力をみる学期末の課題レポート 40%の総合評価とする。	
テキスト Materials	池田豊應著（1995）『臨床投映法入門』ナカニシヤ出版 氏原寛他編（2006）『心理査定実践ハンドブック』創元社 名古屋ロールシャッハ研究会（2018）『ロールシャッハ法解説～名古屋大学式技法～』金子書房	
参考文献 References	H. ロールシャッハ著（鈴木睦夫訳）（1998）『新・完訳 精神診断学』金子書房 日本ロールシャッハ学会「ロールシャッハ法研究」 「Journal of Personality Assessment」Lawrence Erlbaum Associates, Inc.	

# 情報の公表（抜粋版） ～鹿児島純心女子大学大学院～

2019年度 大学院学生便覧

【2019：鹿児島純心女子大学大学院 - 1年生 - 専門領域】

科目名 Subject Name	臨床心理査定演習Ⅱ	配当年次 Assigned Year	1年	開講時期 Semester	後期
担当教員 Instructor	餅原 尚子	授業形態 Lecture Seminar and Practice	演習	単位数 Credits	2
関連資格 Related Qualification		備考 Notes	課題（試験やレポート等）については、フィードバックを行う。ただし、単位認定試験（レポート等）については、予め科目担当者が指定した期限内に申し出のあった学生のみ対応する。		

到達目標 Class Objectives	心理臨床におけるアセスメントについて、病理的サインの読み方について学習する。特に、ロールシャッハ・プロトコルから、精神障害圏、人格障害圏、不安障害圏、発達障害圏、脳器質障害圏等の病理をよみとることができるようになることがねらいである。さらに、さまざまな心理検査等とのバッテリーにより、一人の人間を統合的にアセスメントすることができ、人間を立体的・統合的に理解した総合所見を書き、それを他職種に伝えられるようになることを到達目標とする。	
授業の 展開計画  Outline of Class Sessions	回	内 容
	1	ロールシャッハ・サイコロジーとは(Idiosyncratic)
	2	ロールシャッハ・カードⅠ～Ⅹのシークエンスのもつ意味
	3	事例：統合失調症のプロトコルから ・スコアリング
	4	事例：統合失調症のプロトコルから ・所見作成
	5	事例：統合失調感情障害のプロトコルから ・スコアリング
	6	事例：統合失調感情障害のプロトコルから ・所見作成
	7	事例：初期統合失調症のプロトコルから ・スコアリング
	8	事例：初期統合失調症のプロトコルから ・所見作成
	9	事例：感情障害のプロトコルから ・スコアリング
	10	事例：感情障害のプロトコルから ・所見作成
	11	事例：人格障害のプロトコルから ・スコアリング
	12	事例：人格障害のプロトコルから ・所見作成
	13	事例：不安障害のプロトコルから ・スコアリング
	14	事例：不安障害のプロトコルから ・所見作成
	15	PTSDのロールシャッハ反応 ・極度のいじめの事例 ・セクハラ、ストーカー被害 ・性的被害
	16	PTSDのロールシャッハ反応 ・自然災害 ・虐待
	17	事例：PTSDのプロトコルから ・スコアリング
	18	事例：PTSDのプロトコルから ・所見作成
	19	事例：知的障害のプロトコルから ・スコアリング
20	事例：知的障害のプロトコルから ・所見作成	

# 情報の公表（抜粋版） ～鹿児島純心女子大学大学院～

2019年度 大学院学生便覧

【2019：鹿児島純心女子大学大学院 － 1年生 － 専門領域】

科目名：臨床心理査定演習Ⅱ

	回	内 容
授 業 の 展 開 計 画  Outline of Class Sessions	21	事例：発達障害のプロトコルから ・スコアリング
	22	事例：発達障害のプロトコルから ・所見作成
	23	ブラインド・アナリシス（事例） ・スコアリング
	24	ブラインド・アナリシス（事例） ・所見作成
	25	協働的（治療的アセスメント）
	26	所見作成の例 ・質問紙法 ・投映法
	27	スーパーヴィジョンの受け方と実際
	28	テスター体験 ・Wechsler 法
	29	テスター体験 ・ロールシャッハ法
	30	新入生を被験者にしたロールプレイ（実施のみ）
	31	
	32	
	履修上の注意事項 Remarks	被検者体験のデータを持参のこと（必ず封筒に入れて保管）。
準備学習 Preparation	臨床心理査定演習Ⅰをマスターしておくこと。	
評価方法 Evaluation Method	到達目標に対して、ブラインド・アナリシスによって、病理的サインが読み取れており、それを所見にまとめられているか、さらに、テスター体験によって、感得しているかどうかに視点をあて評価する。演習で取り上げる事例についてのスコアリング・所見作成 30%、関心・意欲の程度をみる授業への取り組み 40%、自分を被検者としたデータの総合所見作成（学期末レポート）30%の総合評価とする。	
テキスト Materials	名古屋ロールシャッハ研究会（2018）『ロールシャッハ法解説～名古屋大学式技法～』金子書房（前期に購入済） 久留一郎・餅原尚子著（2019）『臨床心理学－「生きる意味の確立」と心理支援－』八千代出版（前期に購入済）	
参考文献 References	スティープン・E・フィン（2014）『治療的アセスメントの理論と実践：クライアントの靴を履いて』金剛出版	

# 情報の公表（抜粋版） ～鹿児島純心女子大学大学院～

2019年度 大学院学生便覧

【2019：鹿児島純心女子大学大学院 - 1年生 - 専門領域】

科目名 Subject Name	臨床心理学研究法特論	配当年次 Assigned Year	1年	開講時期 Semester	前期
担当教員 Instructor	仲 沙織, 野村 亮太	授業形態 Lecture Seminar and Practice	講義	単位数 Credits	2
関連資格 Related Qualification		備考 Notes	課題（試験やレポート等）については、フィードバックを行う。ただし、単位認定試験（レポート等）については、予め科目担当者が指定した期限内に申し出のあった学生のみ対応する。		

到達目標 Class Objectives	臨床心理学研究を行っていく上での基礎となる倫理観を養い、様々な研究法を知り、最終的には自分の研究等で適切な研究法を選び、用いることができるようになることがねらいである。 1. 臨床心理学研究を行っていく上での基礎となる倫理観について理解している。 2. データ収集や処理の基本的な方法について述べるができる。 3. それぞれの研究に適した研究方法は何かについて判断できる。
授業の 展開計画  Outline of Class Sessions	本講義では、臨床心理学研究を行っていく上で基礎となる研究の倫理について学んだうえで、データ収集やデータ処理の方法別にどのような研究法があるのかを概観する。さらに実践や心理アセスメント、心理的介入技法にかかわる実際の論文をもとにして、種々の研究分析法について吟味する。
	回 内 容
	1 臨床心理学研究とは－「実証」 担当：仲・野村
	2 研究の倫理 担当：仲・野村
	3 データ分析の基本技法：質的研究法と量的研究法 担当：仲・野村
	4 実験的研究の基本 担当：野村
	5 実験的研究の実施と解釈 担当：野村
	6 実験的研究の応用と展開 担当：野村
	7 観察的研究の基本 - 調査法・観察法 担当：仲
	8 観察的研究の基本 - 検査法・面接法 担当：仲
	9 観察的研究の実施と解釈 担当：仲
	10 臨床心理学的研究の実施と解釈 (1)：実験的研究 - 医療領域 担当：仲・野村
	11 臨床心理学的研究の実施と解釈 (2)：観察的研究 - 医療領域 担当：仲・野村
	12 臨床心理学的研究の実施と解釈 (3)：実験的研究 - 教育領域 担当：仲・野村
	13 臨床心理学的研究の実施と解釈 (4)：観察的研究 - 教育領域 担当：仲・野村
	14 臨床心理学的研究の実施と解釈 (5)：実験的研究 - 福祉領域 担当：仲・野村
	15 臨床心理学的研究の実施と解釈 (6)：観察的研究 - 福祉領域 担当：仲・野村
16	
履修上の注意事項 Remarks	第10回～第15回については、担当者を決め、担当者が各研究法をとりあげた論文を事前に文献検索し、簡単に内容紹介を行うことを求める。 講義内外での質問事項や、ディスカッション、プレゼンテーションに対して、適宜フィードバックを行う。ただし、学期末のレポートについては、予め科目担当者が指定した期限内に申し出のあった学生のみ対応する。
準備学習 Preparation	心理学研究法に関する用語等について事前学習を求める。 発表担当者は各自論文検索しその内容をまとめること。
評価方法 Evaluation Method	受講状況や学習態度 (20%)、プレゼンテーションやディスカッション内容 (30%)、期末レポート (50%) で、総合的に評価する。 レポートの評価については、「論文作成の作法」10点「文章としてのまとまり・タイトルの付け方」等の文章表現10点、「問題設定の適切性」20点、「設定した問題に対する情報収集の適切性」30点、「問題に対する考察の適切性・独自性」30点をベースとする。
テキスト Materials	高野陽太郎・岡隆(編) (2017)『心理学研究法 - 心を見つめる科学のまなざし - (補訂版)』有斐閣アルマ (全員購入)
参考文献 References	下山晴彦・能智正博 編 (2008)『心理学の実践的研究法を学ぶ』新曜社 下山晴彦 編 (2000)『臨床心理学研究の技法』福村出版 下山晴彦 編 (2004)『臨床心理学の新しいかたち』誠信書房 その他適宜紹介する。

# 情報の公表（抜粋版） ～鹿児島純心女子大学大学院～

2019年度 大学院学生便覧

【2019：鹿児島純心女子大学大学院 - 1年生 - 専門領域】

科目名 Subject Name	心理統計法特論	配当年次 Assigned Year	1年	開講時期 Semester	前期
担当教員 Instructor	野村 亮太	授業形態 Lecture Seminar and Practice	講義	単位数 Credits	2
関連資格 Related Qualification		備考 Notes	課題（試験やレポート等）については、フィードバックを行う。 ただし、単位認定試験（レポート等）については、予め科目担当者が指定した期限内に申し出のあった学生のみ対応する。		

到達目標 Class Objectives	心理学における実験結果や調査結果に対して、受講者自ら基礎的統計手法を適切に選択し、適用できる。統計の基本的な考え方である、仮説検証と確率に基づく有意性の判断を身に付ける。統計ソフトウェアを用いて、統計手法を適用し、解釈ができる。心理学研究における専門家集団の一員として、受講者自ら心理学的知見を生み出し、伝える方法について理解を深めることを目標とする。	
授業の 展開計画  Outline of Class Sessions	回	内 容
	1	統計についての素朴概念を見つめ直す。心理学において統計が果たす役割について考え、各自の学習目標を決定する。また、測定（定量）することの効用と限界について学ぶ。
	2	まず、「真ん中」という平均値に対する直観的な理解と正確な定義（二乗和を最小にする値であること）を結びつける。 また、数式に対する苦手意識を軽減するために、具体的な値を用い数式が計算の手順を簡潔に、かつ、正確に示すためのものであることを学ぶ。
	3	平均値の差の検定で重要な概念であるばらつきについて理解を深める。ばらつきを表す分散を計算する手法を平均値からの差（偏差）を議論し、絶対値を取る方法と二乗をする方法があることに気づき、それぞれの手法の有効性を確認する。また、分散を算出する手順を確認し、数式を導出する。
	4	二変数の関係を示す共分散について理解する。図的表現による直観的な理解と数式による正確な理解を結びつけ、共分散が二変数の共変関係の指標になることについて学ぶ。共分散の単位に着目し、正規化して相関係数が得られるという手順を学ぶ。また、データの概要を見るだけで共分散の値を予測する力を身に付ける。
	5	分散の単位がデータの単位と一致しないということを出発点にして、分散から標準偏差を求める手順を身に付ける。また、偏差値の定義を知り、標準偏差を知ることによってデータの性質を定量できることを学ぶ。偏差値の意味と使用方法を理解する。
	6	多くの統計手法の前提になる正規分布がいかんにか導出されるのかを、動画などの視覚教材を用いて学ぶ。また、正規分布の性質を利用して、事象を確率的に見るという視点を学ぶ。併せて、第1種の過誤、第2種の過誤の意味を理解する。
	7	推測統計の考え方について学ぶ。母集団と標本の関係について知り、不偏統計量を用いる意味を学ぶ。ある心理現象が偶然にも生じることがどの程度の確率で生じるかを議論し、有意確率の値の実効値を設定すべきかについて学ぶ。
	8	平均値の差の検定であるt検定の考え方を学ぶ。同じ得点差であっても、各標本のサンプル数と分散によって有意な差といえるかどうか異なる判断がなされることを、分布の形状に着目して理解する。そのうえで、t検定では差の確かさを標準誤差により評価していることを学ぶ。
	9	t検定が適用できるデータとして、1標本の場合および対応がある2標本の場合について学ぶ。また、t検定の前提として、正規分布を仮定していること、また、等分散を仮定していることを知り、こうした過程が満たされない場合における他の手法があることを学ぶ。
	10	平均値の差の検定である分散分析について、一元配置、二元配置、およびそれ以上の配置があることを学ぶ。分散分析の基本的な発想として、要因の効果があるかどうかを誤差との比較によって判断していることを学ぶ。また、効果が見られた際の多重比較についても学び、TukeyのHSD法とBonferroniの方法を身に付ける。
	11	二元配置分散分析では、分散を主効果および交互作用に分解し、それぞれ誤差との比較によって効果の大きさを判断していることを学ぶ。交互作用がある場合の単純主効果の検定によって、水準ごとの効果についても検討できることを学ぶ。また、授業の最後にはフローチャートを用いて、適切に分析方法を選ぶことができるようにする。
	12	回帰分析では、変数間に因果関係を想定し、その予測力が検討できることを学ぶ。重回帰分析では、多重共線性に注意が必要であることを学ぶ。また、ダミー変数を用いることで、カテゴリーデータを用いた回帰分析もできることを学ぶ。
	13	変数間の相関関係から、類似した因子を特定する手法である因子分析は、心理学の概念を複数の観測変数で観測したと想定していることを学ぶ。共通性と独自性、因子負荷量について知り、因子負荷量の図的表現による理解を目指す。
	14	因子分析で用いられる手法として、主因子法、最小二乗法、最尤法があること、回転方法には、プロマックス回転等があることを学ぶ。統計ソフトウェアを用いて、因子分析を行い、結果の解釈の仕方を学ぶ。また、因子分析を適用するときのサンプル数や因子の内的整合性を示す $\alpha$ 係数について知る。
	15	統計ソフトウェアを用いて、t検定、分散分析、回帰分析、因子分析、相関分析などが数行のプログラムで実行できることを学ぶ。最後に欠損値の適切な扱い方について触れ、心理統計の手法の効用と限界についてまとめを行う。
16		

# 情報の公表（抜粋版） ～鹿児島純心女子大学大学院～

2019年度 大学院学生便覧

履修上の注意事項 Remarks	テキストおよび配布した資料は、授業には必ず持参し指示に応じて確認できるようにして授業に臨むこと。講義内容は、次やその後の講義を理解するための基礎になっている。特に、第3回に行う分散についての内容は、その後の内容を理解するために必須事項なので欠席しないよう気を付けること。
準備学習 Preparation	あらかじめ授業内容に該当するテキストを読み、疑問点を持つようにすること。 授業中に配布される資料を用いて復習すること。
評価方法 Evaluation Method	心理統計の手法についての理解を問う最終期末テスト（60%）、関心・意欲の程度を見る授業への取り組み（授業内容への質問を含む）（20%）、心理統計手法の定着の程度を確認する中間テスト（20%）。
テキスト Materials	南風原朝和 著（2002）『心理統計学の基礎』 有斐閣アルマ（全員購入） テキストに加えて、配布資料を併用する。
参考文献 References	豊田秀樹著（2014）『共分散構造分析 R 編—構造方程式モデリング』東京図書

# 情報の公表（抜粋版） ～鹿児島純心女子大学大学院～

2019年度 大学院学生便覧

【2019：鹿児島純心女子大学大学院 - 1年生 - 専門領域】

科目名 Subject Name	福祉分野に関する理論と支援の展開	配当年次 Assigned Year	1年	開講時期 Semester	後期
担当教員 Instructor	中村 誠文	授業形態 Lecture Seminar and Practice	講義	単位数 Credits	2
関連資格 Related Qualification		備考 Notes	課題（試験やレポート等）については、フィードバックを行う。 ただし、単位認定試験（レポート等）については、予め科目担当者が指定した期限内に申し出のあった学生のみ対応する。		

到達目標 Class Objectives	福祉とは、「幸福」や「ゆたかさ」を意味する言葉であり、人間が人間らしい生活を営み、一人ひとりがよりよく生きることを目指すものである。支援対象者も乳幼児、児童、成人、高齢者、障害のある人など幅が広く、様々な支援制度や施設がある。本講義では、社会福祉の歴史や現状、近年の社会的問題の理解を深め、福祉現場において心理専門職としての姿勢や支援のあり方を考えることを目指す。 1. 社会福祉の歴史と現状を理解することができる。 2. 福祉分野の制度や法規、各施設の役割や機能、心理専門職の業務について理解することができる。 3. 福祉分野の各領域において近年社会的問題になっている事柄と心理的知識を結びつけて考え、支援のあり方について自分なりに考えることができる。	
授業の展開計画 Outline of Class Sessions	回	内 容
	1	社会福祉の歴史と福祉心理学
	2	社会福祉の理念
	3	社会福祉の制度と法規
	4	福祉現場における活動の基本
	5	福祉分野における倫理
	6	保健福祉領域における心理支援①—自殺予防—
	7	保健福祉領域における心理支援②—ひきこもり—
	8	児童・家庭福祉領域における心理支援①—児童虐待—
	9	児童・家庭福祉領域における心理支援②—貧困—
	10	児童・家庭福祉領域における心理支援③—DV（ドメスティック・バイオレンス）—
	11	高齢者福祉領域における心理支援①—高齢者虐待—
	12	高齢者福祉領域における心理支援②—認知症—
	13	障害者福祉領域における心理支援①—身体・知的・精神・発達障害—
	14	障害者福祉領域における心理支援②—依存症—
	15	被害者支援と加害者支援について
	16	
履修上の注意事項 Remarks	第6回～第14回については担当者を決め、担当者が各テーマについて調べ、紹介を行うことを求める。意見や質問など積極的に発言する。	
準備学習 Preparation	日ごろから社会的出来事（ニュース等）に関心を持ち、現代の社会における価値観に敏感であること。配布資料は、ファイルにまとめ、いつでも復習しやすいようにしておくこと。発表担当者は、課題テーマの発表準備を行なうこと。	
評価方法 Evaluation Method	評価は、「関心・意欲の程度をみる授業への取り組み」（20%）、「プレゼンテーション」（30%）、「授業を通しての気づきや思考力をみる学期末の課題レポート」（50%）の総合評価とする。	
テキスト Materials	配布資料あり。	
参考文献 References	片岡玲子・米田弘枝（編著）（2019）『公認心理師分野別テキスト2 福祉分野 理論と支援の展開』創元社 その他適宜紹介する。	

# 情報の公表（抜粋版） ～鹿児島純心女子大学大学院～

2019年度 大学院学生便覧

【2019：鹿児島純心女子大学大学院 - 1年生 - 専門領域】

科目名 Subject Name	神経学特論 I	配当年次 Assigned Year	1年	開講時期 Semester	後期
担当教員 Instructor	口岩 俊子	授業形態 Lecture Seminar and Practice	講義	単位数 Credits	2
関連資格 Related Qualification		備考 Notes	【奇数年度開講】 課題（試験やレポート等）については、フィードバックを行う。 ただし、単位認定試験（レポート等）については、予め科目担当者が指定した期限内に申し出のあった学生のみ対応する。		

到達目標 Class Objectives	精神活動は神経細胞の生理的および生化学的活動により起こる。脳を構成する神経細胞に基質的变化が起きると脳の活動状態が変化し、さらに神経細胞の活動が停止すると精神活動も消えてしまう。では、精神活動の基礎となる神経細胞はどのような構造をもち、どのような生理学的、生化学的現象を営んでいるのだろうか。また、神経細胞の集合体である神経回路網はどのように活動しているのだろうか。神経学特論 I では、これらの疑問の答えに近づくために、神経細胞と神経回路網に関する基礎的事項を理解する。特に、神経組織の基本構造と構成細胞に関する構造学的、生理学的、および生化学的事項について最近の知見を論ずる。神経細胞および神経回路網の構造を学び、神経細胞が活動を営むための神経伝達物質についての知識を得、さらに神経細胞が起こる生理的および生化学的現象を学ぶことにより、これらの伝達物質が我々のこのころの変化や行動にどのように影響しているかを理解し、精神活動を細胞レベルで考察する基礎を養うことを目標とする。				
授業の 展開計画  Outline of Class Sessions	この講義では、まずヒトの精神活動の基礎となる神経細胞について理解する。個々の神経細胞に注目し、その基本構造と機能を理解したうえで、神経細胞が複数連結して構成される神経回路網がどのように発達して非常に複雑な脳の高次機能が確立されていくのかを学ぶ。また、神経回路網の活動に大きな影響を与える神経伝達物質の種類とその機能について学び、我々のこのころの変化や行動がどのようにコントロールされているのかを考察する。				
	回	内 容			
	1	神経細胞の基本構造（1） 神経細胞の種類			
	2	神経細胞の基本構造（2） 神経細胞の基本構造			
	3	シナプスの基本構造とその機能			
	4	神経膠細胞の種類とその機能			
	5	刺激の伝導と伝達のしくみ			
	6	心身の発達と発育、特に認知・学習・思考・判断・記憶等の脳の高次機能の発達と神経回路網の形成（1） 認知			
	7	心身の発達と発育、特に認知・学習・思考・判断・記憶等の脳の高次機能の発達と神経回路網の形成（2） 学習・判断			
	8	心身の発達と発育、特に認知・学習・思考・判断・記憶等の脳の高次機能の発達と神経回路網の形成（3） 記憶			
	9	神経伝達物質の種類とその機能（1） セロトニン			
	10	神経伝達物質の種類とその機能（2） ドーパミン			
	11	神経伝達物質の種類とその機能（3） オキシトシン			
	12	神経伝達物質の種類とその機能（4） バゾプレシン			
	13	神経伝達物質の種類とその機能（5） $\beta$ -エンドロフィン			
	14	神経伝達物質による精神活動および行動への影響（1） 不安・やる気			
	15	神経伝達物質による精神活動および行動への影響（2） 愛情・愛おしさ			
16					
履修上の注意事項 Remarks	この講義で学ぶことは、すべて自分自身の身体に実際におきていることである。知識を得るだけでなく、その知識を自分の精神活動や行動に照らし合わせて理解することが、最も大切なことである。自分が何らかの刺激を受け、それをどのようにして認識しているのか。また、どのような神経経路を經由して自らの行動が発現されているのか。普段の何気ない心の動きや行動も、実は非常に大切な目的のある、理にかなった行動であることを理解し、常に自分の心の変化や行動に興味を持って生活すること。				
準備学習 Preparation	・ 次回の講義内容について、専門用語の意味等を調べ、理解しておく。 ・ 講義内容を見直し、理解不足の点がないか確認する。特に講義で得た知識を自分の心や身体に重ね合わせ、具体的に理解することが重要である。				
評価方法 Evaluation Method	最終レポート（80%）、講義への参加意欲（20%）				
テキスト Materials	必要に応じてプリントを配布				
参考文献 References	適宜紹介				

# 情報の公表（抜粋版） ～鹿児島純心女子大学大学院～

2019年度 大学院学生便覧

【2019：鹿児島純心女子大学大学院 - 1年生 - 専門領域】

科目名 Subject Name	家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践	配当年次 Assigned Year	1年	開講時期 Semester	後期
担当教員 Instructor	中村 誠文	授業形態 Lecture Seminar and Practice	講義	単位数 Credits	2
関連資格 Related Qualification		備考 Notes	課題（試験やレポート等）については、フィードバックを行う。 ただし、単位認定試験（レポート等）については、予め科目担当者が指定した期限内に申し出のあった学生のみ対応する。		

到達目標 Class Objectives	<p>家族関係・集団・地域社会への心理支援を考えていく際に“システム”という視点は重要である。システム論やコミュニケーション理論を柱としている家族療法を学び、それと同時に家族療法から派生した短期療法のものの方や考え方を理解する。そして、臨床心理学の一分野として発展を続ける家族療法と短期療法の理論をふまえ、実践的な学びから臨床家としての姿勢、知識と技能を身につけていくことが目的である。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 家族療法・短期療法の基礎的な概念について述べることができる。</li> <li>2. 家族療法・短期療法の理論と援助法について理解することができる。</li> <li>3. 臨床家としての姿勢を身につけることができる。</li> </ol>	
授業の 展開計画  Outline of Class Sessions	<p>授業は、講義と発表を中心とし、家族療法・短期療法のいくつかのアプローチについての発表や実際の家族面接を取り扱いながら、議論し内容を深めていく。</p>	
	回	内 容
	1	心理療法の歴史における家族療法の位置づけ
	2	家族療法とは
	3	構造派
	4	多世代派
	5	MRI コミュニケーション派
	6	Solution Focused Brief Therapy
	7	ナラティブ・アプローチ
	8	リフレクティング・プロセス
	9	ダブルディスクリプション・モデル
	10	家族のアセスメント
	11	臨牀的アプローチの実際
	12	構造派による家族面接
	13	MRI コミュニケーション派による家族面接
	14	Solution Focused Brief Therapy による家族面接
	15	まとめ
16		
履修上の注意事項 Remarks	<p>第3回～第9回については担当者を決め、担当者が各アプローチについて調べ、紹介を行うことを求める。意見や質問など積極的に発言する。</p>	
準備学習 Preparation	<p>配布資料は、ファイルにまとめ、いつでも復習しやすいようにしておくこと。 発表担当者は、課題テーマの発表準備をおこなうこと。</p>	
評価方法 Evaluation Method	<p>評価は、「関心・意欲の程度をみる授業への取り組み」（20%）、「プレゼンテーション」（30%）、「講義を通しての気づきや思考力をみる学期末の課題レポート」（50%）の総合評価とする。</p>	
テキスト Materials	<p>配布資料あり。</p>	
参考文献 References	<p>若島孔文・長谷川啓三著（2000）『短期療法ガイドブック』金剛出版 東豊・水谷久康・若島孔文・長谷川啓三著（2014）『匠の技法に学ぶ 実践・家族面接』日本評論社</p>	

# 情報の公表（抜粋版） ～鹿児島純心女子大学大学院～

2019年度 大学院学生便覧

【2019：鹿児島純心女子大学大学院 - 1年生 - 専門領域】

科目名 Subject Name	被害者臨床援助特論	配当年次 Assigned Year	1年	開講時期 Semester	前期
担当教員 Instructor	久留 一郎	授業形態 Lecture Seminar and Practice	講義	単位数 Credits	2
関連資格 Related Qualification		備考 Notes	課題（試験やレポート等）については、フィードバックを行う。ただし、単位認定試験（レポート等）については、予め科目担当者が指定した期限内に申し出のあった学生のみ対応する。		

到達目標 Class Objectives	犯罪心理学においては、特に犯罪者の心理について論述されることが多いが、本講義では、被害者の心理に視点をあてる。特に自然災害（地震、土石流等）、人的災害（犯罪被害、虐待、事故等）による心理的影響を理解し、危機介入、コミュニティ・アプローチを含めた真の臨床援助のありようを理解する。特に、心理臨床の集大成ともいわれるポスト・トラウマティック・カウンセリングの理論を学び、事例を通して臨床家自身の人格、専門性、臨床的センスを習得することを到達目標とする。	
授業の 展開計画  Outline of Class Sessions	被害者の心理に視点をあて、自然災害や人的災害による心理的影響等やポストトラウマティック・カウンセリングの理論について概説を行う。その上で各人が事例の発表を行うことで学びを深める。	
	回	内 容
	1	被害者支援とは
	2	被害者支援の現状と課題
	3	被害者の「トラウマ」
	4	人的災害
	5	自然災害
	6	二次的（間接的）被災
	7	他の障害との関連
	8	トラウマによる影響
	9	トラウマと発達障害
	10	PTSD (Post-traumatic Stress Disorder)
	11	ポスト・トラウマティック・カウンセリング
	12	被害者への臨床援助的接近
	13	スクール・トラウマとその支援
	14	レジリエンスとPTG
	15	まとめ
16		
履修上の注意事項 Remarks	自主的に取り組むこと。	
準備学習 Preparation	被害者支援に関する法律等を理解しておくこと。	
評価方法 Evaluation Method	口頭発表50%とレポート50%。目標を達成しているかどうかの評価の視点となる。	
テキスト Materials	久留一郎著（2008）『PTSD:ポスト・トラウマティック・カウンセリング』駿河台出版	
参考文献 References	『トラウマティック・ストレス』日本トラウマティック・ストレス学会誌など	

# 情報の公表（抜粋版） ～鹿児島純心女子大学大学院～

2019年度 大学院学生便覧

【2019：鹿児島純心女子大学大学院 - 1年生 - 専門領域】

科目名 Subject Name	司法・犯罪分野に関する理論と 支援の展開	配当年次 Assigned Year	1年	開講時期 Semester	後期
担当教員 Instructor	宇都宮 敦浩	授業形態 Lecture Seminar and Practice	講義	単位数 Credits	2
関連資格 Related Qualification		備考 Notes	課題（試験やレポート等）については、フィードバックを行う。 ただし、単位認定試験（レポート等）については、予め科目担当者が指定した期限内に申し出のあった学生のみ対応する。		

到達目標 Class Objectives	司法・犯罪分野における根拠法令や関係法令について基礎的な知識を身に付け、法的な枠組みや制度について理解を深めるとともに、犯罪心理学、犯罪精神医学、犯罪社会学、少年非行等に関する犯罪理論や再犯防止のための処遇、リスクアセスメント、心理テストの活用、鑑別と鑑定、加害者家族への支援と現状等の各論について学び、司法・犯罪分野に関わる臨床心理士及び公認心理師の実践について学習することを到達目標とする。	
授業の 展開計画  Outline of Class Sessions	回	内 容
	1	主として少年法、少年鑑別所法、刑法、刑事訴訟法を中心に学び、司法・犯罪分野における根拠法令と司法制度について理解を深める。
	2	主として少年法を中心として、関連する児童福祉法、医療観察法、精神保健法等の概略について学び、法的枠組が異なる他機関との連携について理解を深める。
	3	犯罪白書等の統計資料から昨今の司法・犯罪分野における中心的な課題を探り、特に高齢受刑者の増加や障害を抱える受刑者の社会復帰、再犯防止対策といったテーマを取り上げて考察を深める。
	4	犯罪・非行のメカニズム1～ロンプロープに始まる各種の古典的犯罪理論を通じて概観した後、学習理論派、精神分析理論派、社会心理学派の犯罪理論について理解を深める。
	5	犯罪・非行のメカニズム2～発達の視点からの犯罪理論を概観し、特に情緒障害理論、自我同一性理論、対人成熟理論、臨床心理学的非行理論について理解を深める。
	6	犯罪・非行のメカニズム3～セントラル8、ビッグ4といった再犯リスク要因を導き出した最新の犯罪理論を概観するとともに、RNR原則（リスク、ニーズ、レスポンスビリティ）に基づいた矯正処遇について学ぶ。
	7	犯罪社会学～アメリカを中心として発展した犯罪社会学について概観し、特にアノミー理論、分化接触理論、分化同一化理論、副次文化理論、ドリフト理論、社会的絆理論について、理解を深める。
	8	薬物依存者へのアプローチ～薬物犯罪の動向や特徴を確認しつつ、DARCにおける薬物依存者の様子やグループアプローチについて学ぶ。
	9	女性と犯罪～女性犯罪の特徴や研究について統計資料や文献資料を中心に概観し、その支援のあり方について学ぶ。
	10	少年鑑別所における心理臨床～少年鑑別所における観護処遇や資質鑑別、地域社会への援助活動について、担当教員の実務経験を踏まえ、演習を通して学ぶ。
	11	刑事施設における心理臨床～刑事施設における矯正処遇や分類調査、性犯罪調査について、担当教員の実務経験を踏まえ、演習を通して学ぶ。
	12	矯正施設で活用されている心理テスト～家族画、雨の中の人物画、風景構成法等の描画テストを用い、非行・犯罪臨床における心理テストの活用について、演習を通じて学ぶ。
	13	加害者家族の現状と支援～近年注目を集めつつある加害者家族の現状とその支援のあり方について、文献資料を中心に学ぶ。
	14	災害と犯罪～大地震や台風、豪雨等の自然災害に対する防災や減災については、現在多くの研究や活動がなされているが、最近注目されているのが災害後の犯罪とその防止に関する研究であり、その内容について概説する。
	15	精神鑑定事例～理解が難しいとされる少年による重大犯罪について精神鑑定事例を取り上げ、その検討を通じてアセスメントの実際を学ぶ。
	16	
履修上の注意事項 Remarks	授業は講義形式のほか、演習形式や討議形式を取り入れて行う回もあるので、積極的に参加すること。	
準備学習 Preparation	担当教員が事前に文献資料や統計資料を配布するので、授業開始までに目を通しておくこと。	
評価方法 Evaluation Method	レポート50%、受講態度30%、発表・質問20%として総合的に評価する。 特に到達目標に照らし合わせ、学んでいることが身につけているかが評価の視点となる。	
テキスト Materials	使用しない。	
参考文献 References	法務省矯正研修所編（2013）『矯正心理学』公益財団法人矯正協会 高木 清著（2008）『非行少年の世界と周辺』太陽出版 阿部恭子編著（2015）『加害者家族の支援の理論と実践』現代人文社 福島章編著（1999）『現代の精神鑑定』金子書房 斉藤豊治編（2013）『大災害と犯罪』法律文化社	

# 情報の公表（抜粋版） ～鹿児島純心女子大学大学院～

2019年度 大学院学生便覧

【2019：鹿児島純心女子大学大学院 - 1年生 - 専門領域】

科目名 Subject Name	福祉行政総論	配当年次 Assigned Year	1年	開講時期 Semester	前期
担当教員 Instructor	井上 祐子	授業形態 Lecture Seminar and Practice	講義	単位数 Credits	2
関連資格 Related Qualification		備考 Notes	課題（試験やレポート等）については、フィードバックを行う。ただし、単位認定試験（レポート等）については、予め科目担当者が指定した期限内に申し出のあった学生のみ対応する。		

到達目標 Class Objectives	(1) 家庭や学校、職場などへの地域援助に取り組む際の一助になる、保健・医療・福祉行政について理解する。 (2) 保健・医療・福祉行政における、他職種との連携について理解する。	
授業の 展開計画  Outline of Class Sessions	本授業では、生存権と社会保障、社会福祉法制、社会福祉行政、臨床心理行政、更生保護制度、他職種連携、地域援助、権利擁護等について学ぶ。	
	回	内 容
	1	オリエンテーション ・授業の意義、到達目標について 生存権と社会保障 ・日本国憲法第25条
	2	社会福祉法制の概要 ・福祉六法
	3	我が国における社会福祉行政の歴史的展開 ・医療保障 ・所得保障
	4	精神保健の視点から見た学校教育の課題とアプローチ ・少年法 ・少年院法
	5	更生保護制度の概要と精神保健福祉との関係（その1） ・臨床心理行政（刑事司法と更生保護制度）
	6	更生保護制度の概要と精神保健福祉との関係（その2） ・臨床心理行政（司法・医療・福祉の連携）
	7	医療観察法の概要と実際 ・臨床心理行政（医療観察法）
	8	専門機関による援助の違い ・他職種連携
	9	地域援助の概要（その1） ・コミュニティワーク
	10	地域援助の概要（その2） ・予防の考え方 ・支援モデル
	11	地域援助に関連する主な福祉の概念（その1） ・ノーマライゼーション ・ソーシャル・インクルージョン 等
	12	地域援助に関連する主な福祉の概念（その2） ・自己決定 ・パートナーシップ 等
	13	相談援助における権利擁護 ・成年後見制度 ・任意後見制度 等
	14	危機介入とソーシャルネットワーク ・精神保健福祉法
	15	スーパービジョンとコンサルテーション ・専門職間の連携とサポート
16		
履修上の注意事項 Remarks	授業ノート、配布プリントを紛失しないよう、整理すること	
準備学習 Preparation	シラバスを参照し、専門用語などを調べておくこと	
評価方法 Evaluation Method	最終レポート（40%）、発表（40%）、受講態度（20%）により評価する	
テキスト Materials	必要に応じて資料を配布する	
参考文献 References	適宜、紹介する	

# 情報の公表（抜粋版） ～鹿児島純心女子大学大学院～

2019年度 大学院学生便覧

【2019：鹿児島純心女子大学大学院 - 1年生 - 専門領域】

科目名 Subject Name	障害児（者）心理学特論	配当年次 Assigned Year	1年	開講時期 Semester	後期
担当教員 Instructor	仲 沙織, 餅原 尚子	授業形態 Lecture Seminar and Practice	講義	単位数 Credits	2
関連資格 Related Qualification		備考 Notes	課題（試験やレポート等）については、フィードバックを行う。 ただし、単位認定試験（レポート等）については、予め科目担当者が指定した期限内に申し出のあった学生のみ対応する。		

到達目標 Class Objectives	生から死（乳幼児期から高齢期）に至るまでのライフサイクルで生じる様々な「障害」に視点をあて、「知的障害」「発達障害」「情緒障害」「精神障害」「人格障害」等の精神病理について、心理臨床家としての人間哲学や心理臨床的アプローチのありようについて理解することを到達目標とする。	
授業の 展開計画  Outline of Class Sessions	回	内 容
	1	ヨーロッパの障害児（者）の人間観と支援のありよう（餅原）
	2	障害児（者）観（餅原） ・人間観・臨床観
	3	障害児の初期徴候（餅原） ・発達の個人差
	4	・早期査定、早期支援の重要性（餅原） ・1歳半健診、3歳健診のありよう
	5	障害児の就学相談（餅原） ・通級指導教室 ・特別支援学級 ・特別支援学校
	6	障害者の就労支援（餅原） ・知的障害 ・発達障害 ・精神障害
	7	障害児（者）の家族への支援（餅原）
	8	発達支援/特別支援教育（餅原） ・相談支援ファイル ・合理的配慮 ・協働的発達支援 ・移行支援シート ・協働的アセスメント
	9	精神障害者の初期兆候（仲） ・早期査定、早期支援
	10	精神科入院形態と病棟での心理職の役割（仲）
	11	精神障害者の退院支援と自立支援医療制度（仲） ・精神科デイケア ・訪問看護等 ・グループホーム
	12	精神障害者への多職種チームによる支援（仲） ・精神科デイケア
	13	精神障害者への多職種チームによる支援（仲） ・就労移行支援事業
	14	多職種チームによる精神科アウトリーチ（仲） ・当事者支援
	15	多職種チームによる精神科アウトリーチ（仲） ・家族支援
16		
履修上の注意事項 Remarks	第12回～第15回は、事前に提示された項目について調べ、レポートにまとめ、発表すること。	
準備学習 Preparation	シラバスを参照し、配付された資料等を熟読し、専門用語等を調べ、説明できるように準備しておくこと。 講義終了後は、ファイルを作成し、いつでも復習できるようにしておくこと。	
評価方法 Evaluation Method	到達目標に対して、心理臨床家としての人間哲学や心理臨床的アプローチのありようについて理解しているかが評価の視点になる。発表 30%、関心・意欲の程度をみる講義への取り組み 40%、障害児・者の精神病理とそのアプローチについての理解力をみる学期末の課題レポート 30%の総合評価とする。	
テキスト Materials	久留一郎・餅原尚子著（2019）『臨床心理学－「生きる意味の確立」と心理支援－』（八千代出版）	
参考文献 References	適宜、紹介する。	

# 情報の公表（抜粋版） ～鹿児島純心女子大学大学院～

2019年度 大学院学生便覧

【2019：鹿児島純心女子大学大学院 - 1年生 - 専門領域】

科目名 Subject Name	小児医学特論	配当年次 Assigned Year	1年	開講時期 Semester	前期
担当教員 Instructor	山本 英次	授業形態 Lecture Seminar and Practice	講義	単位数 Credits	2
関連資格 Related Qualification		備考 Notes	課題（試験やレポート等）については、フィードバックを行う。 ただし、単位認定試験（レポート等）については、予め科目担当者が指定した期限内に申し出のあった学生のみ対応する。		

到達目標 Class Objectives	<p>育児とストレスや慢性疾患に伴う心身の諸問題について理解を深めることを目的とするため下記のことを目標とする。</p> <p>1.成長と発達に必要な生活環境について説明できる。 2.ストレスに対する生体のメカニズムについて説明できる。 3.慢性疾患が心身に及ぼす影響について説明できる。</p>	
授業の 展開計画  Outline of Class Sessions	小児の成長と発達を基に育児に関することについて講義を行い、その上で環境に対する生体反応として神経、内分泌、免疫など臨床心理学に必要な医学的知識について講義する。 最後に、健康障害を抱えた子どもとその家族について、文献事例をもとに心理的問題点について課題発表を行う。	
	回	内 容
	1	ライフスタイルと子ども 子どもと家族
	2	成長と運動発達 発達生理
	3	精神発達
	4	育児
	5	子どもと遊び
	6	子ども社会
	7	子どもと環境
	8	発達上の問題
	9	神経
	10	内分泌
	11	免疫
	12	健康障害を抱えた子どもと家族の問題
	13	課題発表 (健康障害を抱えた子どもとその家族についての事例1)
	14	課題発表 (健康障害を抱えた子どもとその家族についての事例2)
	15	課題発表 (健康障害を抱えた子どもとその家族についての事例3)
16		
履修上の注意事項 Remarks	課題発表は事前に子どもの慢性疾患を呈示するので、医学的、心理学的に文献を元に資料を作成すること。	
準備学習 Preparation	図書館で医学的な基礎を学んでおくこと。	
評価方法 Evaluation Method	課題発表(50%)とレポート(50%)で評価する。	
テキスト Materials	特になし。	
参考文献 References	特に指定なし。	

# 情報の公表（抜粋版） ～鹿児島純心女子大学大学院～

2019年度 大学院学生便覧

【2019：鹿児島純心女子大学大学院 - 1年生 - 専門領域】

科目名 Subject Name	保健医療分野に関する理論と支援の展開	配当年次 Assigned Year	1年	開講時期 Semester	前期
担当教員 Instructor	井上 賢人	授業形態 Lecture Seminar and Practice	講義	単位数 Credits	2
関連資格 Related Qualification		備考 Notes	課題（試験やレポート等）については、フィードバックを行う。 ただし、単位認定試験（レポート等）については、予め科目担当者が指定した期限内に申し出のあった学生のみ対応する。		

到達目標 Class Objectives	臨床心理学的面接において見立てを行うことと同様に、本邦の臨床精神医学においてWHOの刊行しているICD-10による診断を行うこととなっているが、2018年6月ICD-11がVersion for Implementationとして発表され、2019年にWHOでの承認を控えており、日本語訳は2020年以降に発刊予定である。また、2016年5月に米国精神医学会による診断・統計マニュアルであるDSM-5の日本語版が出版された。これらに関連して、日本語病名について日本精神神経学会にて検討され変更、統一されたものもある。 この講義により、これまでの精神医学の歴史、症候学、検査、精神保健福祉、薬剤について理解することを到達目標とする。	
授業の展開計画 Outline of Class Sessions	第1回から第5回までは総論的な講義を行い、第6回から第15回までは受講者に、テキスト、DSM-5を参考にして各論についてのプレゼンテーションを行ってもらい、それに対してコメントをする。	
	回	内 容
	1	オリエンテーション（授業の概要の説明とプレゼンテーションのテーマの選択）
	2	精神医学の歴史、脳科学と精神医学についての概説を行う。（テキスト第1～2章）
	3	精神機能とその異常、精神発達について概説を行う。（テキスト第3～4章）
	4	精神医学的診察と診断、精神科治療学について概説を行う。（テキスト第5～6章）
	5	コンサルテーション・リエゾン精神医学、精神医療と社会について概説を行う。（テキスト第7～8章）
	6	第6回～第15回まではテキスト及びDSM-5を用いた各論についてのプレゼンテーションを行い、その内容についての説明やディスカッションを行う。
	7	第6回～第15回まではテキスト及びDSM-5を用いた各論についてのプレゼンテーションを行い、その内容についての説明やディスカッションを行う。
	8	第6回～第15回まではテキスト及びDSM-5を用いた各論についてのプレゼンテーションを行い、その内容についての説明やディスカッションを行う。
	9	第6回～第15回まではテキスト及びDSM-5を用いた各論についてのプレゼンテーションを行い、その内容についての説明やディスカッションを行う。
	10	第6回～第15回まではテキスト及びDSM-5を用いた各論についてのプレゼンテーションを行い、その内容についての説明やディスカッションを行う。
	11	第6回～第15回まではテキスト及びDSM-5を用いた各論についてのプレゼンテーションを行い、その内容についての説明やディスカッションを行う。
	12	第6回～第15回まではテキスト及びDSM-5を用いた各論についてのプレゼンテーションを行い、その内容についての説明やディスカッションを行う。
	13	第6回～第15回まではテキスト及びDSM-5を用いた各論についてのプレゼンテーションを行い、その内容についての説明やディスカッションを行う。
	14	第6回～第15回まではテキスト及びDSM-5を用いた各論についてのプレゼンテーションを行い、その内容についての説明やディスカッションを行う。
	15	第6回～第15回まではテキスト及びDSM-5を用いた各論についてのプレゼンテーションを行い、その内容についての説明やディスカッションを行う。
16		
履修上の注意事項 Remarks	前向きに取り組むことを期待する。 遅刻、早退については、急病などでやむをえない事情の際は認める。	
準備学習 Preparation	担当することになったプレゼンテーションについては、責任を持って用意すること。	
評価方法 Evaluation Method	授業活動内容、調査・プレゼンテーション（50%）、レポート（50%）による総合評価を行う。特に、到達目標に対して、理解しているかどうかを評価の視点とする。	
テキスト Materials	野村総一郎・樋口輝彦（監修）（2018）『標準精神医学 第7版』医学書院（全員購入）	
参考文献 References	DSM-5（2014）『精神疾患の分類と診断の手引き』医学書院 DSM-5（2014）『精神疾患の診断・統計マニュアル』医学書院 ICD-10（2015）『精神および行動の障害』医学書院 新訂版発行	

# 情報の公表（抜粋版） ～鹿児島純心女子大学大学院～

2019年度 大学院学生便覧

【2019：鹿児島純心女子大学大学院 - 1年生 - 専門領域】

科目名 Subject Name	精神薬理学特論	配当年次 Assigned Year	1年	開講時期 Semester	前期
担当教員 Instructor	岩田 真一	授業形態 Lecture Seminar and Practice	講義	単位数 Credits	1
関連資格 Related Qualification		備考 Notes	課題（試験やレポート等）については、フィードバックを行う。 ただし、単位認定試験（レポート等）については、予め科目担当者が指定した期限内に申し出のあった学生のみ対応する。		

到達目標 Class Objectives	解剖学、生理学、生化学、内科学などを理解した上で、薬物の作用、臨床応用、特に中枢神経作用薬について理解することを目的とする。 1. 薬物の作用機序について説明できる。 2. 薬物の吸収、分布、排泄について説明できる。 3. 代表的な中枢神経作用薬の臨床応用について説明できる。	
授業の 展開計画  Outline of Class Sessions	臨床心理士は患者が服用している薬物についての知識が必要である。特に中枢神経作用薬がヒトに作用する機序・精神薬理学についての基礎知識を概説する。薬物療法は言語療法とともに治療の両輪をなすものである。	
	回	内 容
	1	抗不安薬：GABA神経系の構造と機能、ベンゾジアゼピン系抗不安薬と非ベンゾジアゼピン系抗不安薬
	2	抗鬱薬：うつ病のモノアミン仮説、モノアミン神経系の構造と機能、三環系抗うつ薬、選択的セロトニン受容体阻害薬
	3	睡眠薬：睡眠の生理学、不眠の臨床、ベンゾジアゼピン系睡眠薬と非ベンゾジアゼピン系睡眠薬
	4	抗精神病薬：統合失調症とは、ドパミン神経系の構造と機能、古典的抗精神病薬と非定型的抗精神病薬
	5	抗てんかん薬：てんかんとは、抗てんかん薬の作用機序と分類
	6	脳循環・代謝改善薬：脳循環改善薬の意義と疑義 双極性障害治療薬：躁鬱病とは、リチウムの作用機序 抗酒薬：嫌酒薬の作用機序と使用に際しての注意
	7	抗認知症薬：認知症とは、認知症の分類と特徴、興奮性アミノ酸神経系の構造と機能
	8	漢方薬：証とは 漢方薬の臨床応用と副作用
	9	
	10	
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
16		
履修上の注意事項 Remarks	わからないことは遠慮なく質問すること。	
準備学習 Preparation	予習は不要。復習はしっかりしておくこと。	
評価方法 Evaluation Method	単位認定試験（100%）	
テキスト Materials	酒井隆編（2017）『こころの治療薬 ハンドブック』 星和書店 *最新版を購入のこと（全員購入）	
参考文献 References	井上令一監修（2016）『カプラン臨床精神医学テキスト』メディカル・サイエンス・インターナショナル 仙波純一監訳（2015）『精神薬理学エッセンシャルズ』メディカル・サイエンス・インターナショナル	

# 情報の公表（抜粋版） ～鹿児島純心女子大学大学院～

2019年度 大学院学生便覧

【2019：鹿児島純心女子大学大学院 - 1年生 - 専門領域】

科目名 Subject Name	神経学特論Ⅱ	配当年次 Assigned Year	1年	開講時期 Semester	後期
担当教員 Instructor	口岩 俊子	授業形態 Lecture Seminar and Practice	講義	単位数 Credits	2
関連資格 Related Qualification		備考 Notes	【偶数年度開講】 課題（試験やレポート等）については、フィードバックを行う。 ただし、単位認定試験（レポート等）については、予め科目担当者が指定した期限内に申し出のあった学生のみ対応する。		

到達目標 Class Objectives	<p>精神活動の基礎は個々の神経細胞の活動によって行われているが、個々の神経細胞が独立して精神活動を営むわけではない。すべての精神活動は、神経細胞のネットワークが正しく働くことによって実現されている。例えば、思考・判断・理解・創造に代表される高度な精神活動は、大脳皮質と大脳基底核の多くの神経細胞が作り出すネットワークによって行われており、さらに大脳以外の多くの部位に存在する神経細胞もこのネットワークに参加して様々な調節を行っている。神経学特論Ⅱでは、大脳を含むヒトの中枢神経系の構造と機能について学んでいく。さらに、情動活動に強い影響力を持つ自律神経系についての理解を深める。これによって、精神活動の座である脳のしくみについて考察する基礎を養うことを目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 中枢神経系の構造と機能について、詳細に理解できる。</li> <li>2. 自律神経系の構造と機能について、具体的に理解できる。</li> <li>3. 基本的な精神活動について、脳科学的に考察できる。</li> </ol>	
授業の 展開計画  Outline of Class Sessions	回	内 容
	1	ヒトの神経系の分類と概要
	2	大脳の構造と各部の機能① 視覚野、聴覚野、体性感覚野
	3	大脳の構造と各部の機能② 運動野、言語野
	4	大脳の構造と各部の機能③ 大脳基底核
	5	間脳の構造と各部の機能
	6	脳幹（中脳・橋・延髄）の構造と各部の機能
	7	小脳の構造と各部の機能
	8	脊髄の構造と各部の機能
	9	伝導路① 連合性伝導路、後連性伝導路
	10	伝導路② 投射性伝導路
	11	自律神経系の構造と機能① 交感神経系
	12	自律神経系の構造と機能② 副交感神経系
	13	各刺激の受容からそれに対応した精神活動、および行動の発現までの情報の流れ① 視覚刺激、聴覚刺激
	14	各刺激の受容からそれに対応した精神活動、および行動の発現までの情報の流れ② 痛覚刺激
	15	各刺激の受容からそれに対応した精神活動、および行動の発現までの情報の流れ③ その他の刺激
	16	
履修上の注意事項 Remarks	この講義で学ぶことは、すべて自分自身の身体に実際におきていることである。知識を得るだけでなく、その知識を自分の精神活動や行動に照らし合わせて理解することが、最も大切なことである。自分が何らかの刺激を受け、それをどのようにして認識しているのか。また、どのような神経回路を經由して自らの行動が発現されているのか。普段の何気ない心の動きや行動も、実は非常に大切な目的のある、理にかなった行動であることを理解し、常に自分の心の変化や行動に興味を持って生活すること。	
準備学習 Preparation	特に復習が重要である。授業で得た知識を自分の心や身体に重ね合わせ、具体的に理解すること。	
評価方法 Evaluation Method	評価は、最終レポート（80%）、学習参加度（20%）の総合評価とする。	
テキスト Materials	必要に応じてプリントを配布	
参考文献 References	適宜紹介	

# 情報の公表（抜粋版） ～鹿児島純心女子大学大学院～

2019年度 大学院学生便覧

【2019：鹿児島純心女子大学大学院 - 1年生 - 専門領域】

科目名 Subject Name	遊戯療法特論	配当年次 Assigned Year	1年	開講時期 Semester	前期
担当教員 Instructor	餅原 尚子	授業形態 Lecture Seminar and Practice	講義	単位数 Credits	2
関連資格 Related Qualification		備考 Notes	課題（試験やレポート等）については、フィードバックを行う。ただし、単位認定試験（レポート等）については、予め科目担当者が指定した期限内に申し出のあった学生のみ対応する。		

到達目標 Class Objectives	人間学的心理療法の立場に立脚し、「遊び」を媒介にした子どもの心理療法を学ぶ。特に、遊戯療法について、その理論、治療目標、治療仮説を理解し、人間の独自性を尊重し、自己実現的变化を促進するような面接者（心理臨床家）としてのありようを感得することを到達目標とする。また、実際の場を観察しつつ、学内実習で、実際に遊戯療法を体験できるようになることがねらいである。	
授業の 展開計画  Outline of Class Sessions	回	内 容
	1	心理療法の3つの治療仮説（オリエンテーション）：精神分析療法・行動療法・人間学的心理療法 人間学的心理療法（来談者中心療法）の症状の理解と治療仮説 ・セラピストの透明性 「自己洞察（きづき）」「自己受容（うけいれ）」「自己一致（うごき）」 ・セラピストの共感性
	2	遊戯療法：子どもの心理療法 ・治療構造（外的治療構造・内的治療構造） ・「あそび」のもつ意味 ・遊戯療法の原理（治療目標・治療仮説）
	3	・治療的場としてのプレイ・ルーム ・治療契約：時間と回数 ・観察・記録と臨床的視点 ・治療的意味を深める遊具の選択 ・遊戯療法のプロセス ・遊戯療法の治療的効果：プロセス・スケール
	4	アクスラインの遊戯療法の8つの原理 （1）ラポール （2）あるがままの受容 （3）あたたかくおおらかな雰囲気
	5	アクスラインの遊戯療法の8つの原理 （4）正確な認知と適切な反射 （5）自発性の尊重
	6	アクスラインの遊戯療法の8つの原理 （6）自己決定、自己選択の尊重 （7）クライアントのペースの尊重 （8）制限と禁止（人としての責任）
	7	遊戯療法の親子並行面接の重要性
	8	総括（スーパーヴィジョンの重要性）とレポート作成
	9	
	10	
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
履修上の注意事項 Remarks	「ロジャース全集」（岩崎学術出版社）を読んでおくこと。 可能な限り、1年次、2年次で、学部開講の「こどものカウンセリング（後期開講）」を受講すること。	
準備学習 Preparation	シラバスを参照し、テキストを熟読し、専門用語等を調べておくこと。 講義終了後は、ファイルを作成し、いつでも復習できるようにしておくこと。	
評価方法 Evaluation Method	到達目標に対して遊戯療法の治療目標、治療仮説等の理解ができているかを中心に評価する。発表30%、関心・意欲の程度をみる講義への取り組み40%、アクスラインの遊戯療法の8つの原理についての理解度をみる学期末のレポート30%の総合評価とする。	
テキスト Materials	アクスライン著（1972）『遊戯療法』岩崎学術出版社（全員購入）	
参考文献 References	アレン著（1955）『問題児の心理療法』みすず書房 ムスターカス著（1973）『児童の心理療法』岩崎学術出版社	

# 情報の公表（抜粋版） ～鹿児島純心女子大学大学院～

2019年度 大学院学生便覧

【2019：鹿児島純心女子大学大学院 - 1年生 - 専門領域】

科目名 Subject Name	精神分析療法特論	配当年次 Assigned Year	1年	開講時期 Semester	後期
担当教員 Instructor	成願 めぐみ	授業形態 Lecture Seminar and Practice	講義	単位数 Credits	1
関連資格 Related Qualification		備考 Notes	課題（試験やレポート等）については、フィードバックを行う。ただし、単位認定試験（レポート等）については、予め科目担当者が指定した期限内に申し出のあった学生のみ対応する。		

到達目標 Class Objectives	精神分析療法は現在の様々な心理療法を生み出した礎ともいえる心理療法であり、人の心の仕組みにおける知見は心理療法のみならず、多様な分野で人々に多くの示唆を与えて来た。本講義では、精神分析療法の基本理論および精神分析療法における基本概念を学び、精神的な人格理解と心理療法を理解することを目標とする。	
授業の 展開計画  Outline of Class Sessions	履修者の発表及び講義による形式で行う。	
	回	内 容
	1	精神分析療法の誕生と変遷
	2	精神分析的人格理論① 心の構造
	3	精神分析的人格理論② 自我と防衛
	4	精神分析的人格理論③ 対象関係
	5	精神分析的人格理論④ 自己
	6	精神分析的人格理論⑤ 母子関係と発達
	7	精神分析的人格理論⑥ パーソナリティ
	8	精神分析的人格理論による物語分析
	9	精神分析療法① 導入・治療構造
	10	精神分析療法② 転移・逆転移
	11	精神分析療法③ 抵抗・行動化
	12	精神分析療法④ 介入・解釈
	13	精神分析療法⑤ ワーキングスルー・終結
	14	精神分析療法⑥ 夢・子どもの心理療法
15	まとめ	
16		
履修上の注意事項 Remarks	課題発表と本心理療法を理解することに意欲的に取り組むこと。	
準備学習 Preparation	各自が担当する課題テーマについて、臨床的視点を含めて必要な知識をまとめ、発表できるよう準備する。	
評価方法 Evaluation Method	課題発表(60%) および授業参加態度(40%)により総合評価する。	
テキスト Materials	適宜紹介する。	
参考文献 References	適宜紹介する。	

# 情報の公表（抜粋版） ～鹿児島純心女子大学大学院～

2019年度 大学院学生便覧

【2019：鹿児島純心女子大学大学院 - 1年生 - 専門領域】

科目名 Subject Name	臨床心理地域援助特論	配当年次 Assigned Year	1年	開講時期 Semester	前期
担当教員 Instructor	仲 沙織	授業形態 Lecture Seminar and Practice	講義	単位数 Credits	2
関連資格 Related Qualification		備考 Notes	課題（試験やレポート等）については、フィードバックを行う。 ただし、単位認定試験（レポート等）については、予め科目担当者が指定した期限内に申し出のあった学生のみ対応する。		

到達目標 Class Objectives	<p>現代社会では、社会環境の変化に呼応して複雑な心理社会的問題が増幅し、地域で心理援助を必要とする人びとの存在に目が向けられ、心理職への期待が高まっている。当事者や家族の多様なニーズに応えるためには、臨床心理学や精神医学の専門家のみならず、様々な職種の専門家との連携・協働が欠かせない。本講義では、臨床心理地域援助の視座を基に、日本や諸外国の地域精神科医療の現状やあゆみを知り、他職種の理解を深める。また、地域でどのような心理援助が求められ、どのように提供できる可能性があるのかを学び、今後の研究や臨床実践に向けての課題や展望を考察することを目的とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「臨床心理的地域援助」とは何かを理解することができる。</li> <li>2. 「臨床心理的地域援助」の方法について理解することができる。</li> <li>3. 「臨床心理的地域援助」を事例を通して学び、他職種協働について理解することができる。</li> </ol>																																		
授業の 展開計画  Outline of Class Sessions	<p>授業は講義を中心に、グループワークやプレゼンテーションの機会を取り入れる。 精神科医療領域のアウトリーチにおける、臨床心理士としての実務経験による事例を取り入れた内容を含む。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>臨床心理地域援助の視座～コミュニティ・モデルに基づく心理援助サービス～</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>予防の概念と予防的介入～精神科アウトリーチのあゆみと現状～</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>多職種の理解とチーム医療～連携・協働～</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>心理職への期待と課題～精神科アウトリーチにおける心理臨床～</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>利用者のニーズと家族支援</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>こどもへのアウトリーチ～事例から学ぶ～</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>おとなへのアウトリーチ～事例から学ぶ～</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>臨床心理地域援助の課題と展望～研究と実践の統合を目指す～</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>14</td> <td></td> </tr> <tr> <td>15</td> <td></td> </tr> <tr> <td>16</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	回	内 容	1	臨床心理地域援助の視座～コミュニティ・モデルに基づく心理援助サービス～	2	予防の概念と予防的介入～精神科アウトリーチのあゆみと現状～	3	多職種の理解とチーム医療～連携・協働～	4	心理職への期待と課題～精神科アウトリーチにおける心理臨床～	5	利用者のニーズと家族支援	6	こどもへのアウトリーチ～事例から学ぶ～	7	おとなへのアウトリーチ～事例から学ぶ～	8	臨床心理地域援助の課題と展望～研究と実践の統合を目指す～	9		10		11		12		13		14		15		16	
	回	内 容																																	
	1	臨床心理地域援助の視座～コミュニティ・モデルに基づく心理援助サービス～																																	
	2	予防の概念と予防的介入～精神科アウトリーチのあゆみと現状～																																	
	3	多職種の理解とチーム医療～連携・協働～																																	
	4	心理職への期待と課題～精神科アウトリーチにおける心理臨床～																																	
	5	利用者のニーズと家族支援																																	
	6	こどもへのアウトリーチ～事例から学ぶ～																																	
	7	おとなへのアウトリーチ～事例から学ぶ～																																	
	8	臨床心理地域援助の課題と展望～研究と実践の統合を目指す～																																	
	9																																		
	10																																		
	11																																		
	12																																		
	13																																		
	14																																		
	15																																		
16																																			
履修上の注意事項 Remarks	<p>守秘義務を遵守すること。 専門用語等は事前に調べ、関連する国内外の論文に積極的に触れること。 講義内外での質問事項やグループワーク、プレゼンテーションに対して、適宜フィードバックを行う。ただし、学期末のレポートについては、予め科目担当者が指定した期限内に申し出のあった学生のみ対応する。</p>																																		
準備学習 Preparation	配布された資料やプリントは、その都度復習し、整理して毎回持参すること。疑問点は積極的に質問すること。																																		
評価方法 Evaluation Method	「臨床心理地域援助についての理解度、定着度をみる学期末のレポート」（70%）、「関心・意欲の程度をみる授業への取り組み」（30%）の総合評価とする。																																		
テキスト Materials	適宜紹介する。																																		
参考文献 References	適宜紹介する。																																		

# 情報の公表（抜粋版） ～鹿児島純心女子大学大学院～

2019年度 大学院学生便覧

【2019：鹿児島純心女子大学大学院 - 1年生 - 専門領域】

科目名 Subject Name	教育分野に関する理論と支援の 展開	配当年次 Assigned Year	1年	開講時期 Semester	前期
担当教員 Instructor	藤田 千鶴子	授業形態 Lecture Seminar and Practice	講義	単位数 Credits	1
関連資格 Related Qualification		備考 Notes	課題（試験やレポート等）については、フィードバックを行う。ただし、単位認定試験（レポート等）については、予め科目担当者が指定した期限内に申し出のあった学生のみ対応する。		

到達目標 Class Objectives	<p>教育現場では、いじめ、不登校、発達障害、危機介入など多種多様な問題があり、それらへの支援のニーズに柔軟に対応することが求められている。実践の様子を知り事例を検討することで、スクールカウンセラー等の教育現場で求められる資質について理解し、現在の自分との対比の中で足りないものについて考え、様々な相談に対応できる知識及び技術を身につけることをねらいとする。</p> <p>1. 学校現場で必要とされるスクールカウンセラーとなるために求められる知識及び技術とは何か説明することができる。</p> <p>2. カウンセラーとしての資質とは何かについて自分なりに考えることができる。</p>	
授業の 展開計画  Outline of Class Sessions	<p>スクールカウンセラー等教育の現場における支援を支える理論及び実際について学ぶ。いくつかの事例について自分なりに調べて発表すること、また受講者同士の議論を通して、支援のあり方について検討する。</p>	
	回	内 容
	1	教育現場におけるスクールカウンセラー等の業務・学校アセスメントとは
	2	いじめに遭った子どもたちとのかかわり
	3	いじめ事例を通して（発表形式）
	4	不登校を呈する子どもたちとのかかわり
	5	不登校事例を通して（発表形式）
	6	発達障害のある子どもたちとのかかわり
	7	発達障害事例を通して（発表形式）
	8	保護者と対面するときの心構え
	9	非行・暴力行為を行う子どもたちとのかかわり
	10	非行・暴力行為事例を通して（発表形式）
	11	コンサルテーション（教師への支援）
	12	校内職員研修・校内体制作りのありよう
	13	スクールカウンセリングの事例検討（発表形式）
	14	危機介入（緊急支援）
	15	教育現場における支援とは（まとめ）
16		
履修上の注意事項 Remarks	<p>興味のあるテーマや事例を選び、自分なりに調べて、発表する場を設けている。発表者はもちろんのこと全員が積極的に質問をし、議論に参加すること。</p>	
準備学習 Preparation	<p>次回のテーマと関連する配布資料等を、事前に読んでおくこと。 復習しやすいように、資料やノートをまとめておくこと。</p>	
評価方法 Evaluation Method	<p>期末レポート 70%、プレゼンテーション 10%、学習態度（議論への参加度を含む） 20% レポート課題：「スクールカウンセラーに求められる資質とは」</p>	
テキスト Materials	<p>村山正治・滝口俊子編(2012)『現場で役立つスクールカウンセリングの実際』創元社（全員購入）</p>	
参考文献 References	<p>村山正治・滝口俊子編(2007)『事例に学ぶカウンセリングの実際』創元社 その他適宜紹介する。</p>	

# 情報の公表（抜粋版） ～鹿児島純心女子大学大学院～

2019年度 大学院学生便覧

【2019：鹿児島純心女子大学大学院 - 1年生 - 専門領域】

科目名 Subject Name	産業・労働分野に関する理論と支援の展開	配当年次 Assigned Year	1年	開講時期 Semester	後期
担当教員 Instructor	石井 宏祐	授業形態 Lecture Seminar and Practice	講義	単位数 Credits	2
関連資格 Related Qualification		備考 Notes	課題（試験やレポート等）については、フィードバックを行う。 ただし、単位認定試験（レポート等）については、予め科目担当者が指定した期限内に申し出のあった学生のみ対応する。		

到達目標 Class Objectives	①産業・労働分野における心理職の役割を述べることができる。 ②産業・組織に関する心理学について説明できる。 ③産業・労働分野に関する法律、制度について説明できる。 ④産業・労働分野の心理社会的課題について説明できる。 ⑤産業・労働分野の心理臨床技法を実践することができる。				
授業の展開計画 Outline of Class Sessions	産業・労働分野は、心理職の関与が求められる代表的分野のひとつである。職場や労働上で生じる心理的問題への必要な支援に関する理論と技法を修得できるよう、講義と討論とロールプレイで展開していく。				
	回	内 容			
	1	オリエンテーション（産業・労働分野における心理職の役割）			
	2	産業・労働分野の公認心理師			
	3	産業・労働分野の心理社会的課題			
	4	産業・労働分野の心理臨床技法			
	5	産業・組織に関する心理学			
	6	産業・労働分野に関する法律、制度			
	7	事例1 & 2 うつ病と休養 事例3 発達障害と合理的配慮			
	8	事例4 パーソナリティ障害と連携 事例5 嗜癖臨床			
	9	事例6 ハラスメント 事例7 & 8 職場復帰支援			
	10	事例9 キャリア支援 事例10 自死の問題			
	11	産業領域における心理臨床活動 従業員から相談を受けたら			
	12	管理職から相談を受けたら 人事部からの依頼（組織介入）			
	13	従業員の職場復帰支援 研修を依頼されたら			
	14	ロールプレイ			
	15	グループミーティング			
16					
履修上の注意事項 Remarks	この科目は、講義と討論とロールプレイで構成される。意見や質問など意欲的に発言すること。またロールプレイにも積極的に取り組むこと。 なお、再試験は行わない。				
準備学習 Preparation	指定教科書をあらかじめ熟読しておくこと。				
評価方法 Evaluation Method	小レポート 40%、グループワーク 40%、学習態度 20%で評価する。				
テキスト Materials	①指定教科書 三浦由美子ほか（2018）『産業・組織カウンセリング実践の手引き』 遠見書房（全員購入） ②配付資料 指定教科書のほかに資料集を配付する。				
参考文献 References	特になし。				

# 情報の公表（抜粋版） ～鹿児島純心女子大学大学院～

2019年度 大学院学生便覧

【2019：鹿児島純心女子大学大学院 - 1年生 - 専門領域】

科目名 Subject Name	心の健康教育に関する理論と実践	配当年次 Assigned Year	1年	開講時期 Semester	後期
担当教員 Instructor	藤田 千鶴子, 餅原 尚子, 成願 めぐみ, 仲沙織, 中村 誠文	授業形態 Lecture Seminar and Practice	講義	単位数 Credits	2
関連資格 Related Qualification		備考 Notes	課題（試験やレポート等）については、フィードバックを行う。ただし、単位認定試験（レポート等）については、予め科目担当者が指定した期限内に申し出のあった学生のみ対応する。		

到達目標 Class Objectives	<p>心の問題は広く人間一般に共通する問題でもあり、その予防や啓発活動の実践が望まれている。本講義では様々な領域、現場における心の健康教育に関する理論や実践を学び、心理援助職としてどのような実践を行うことができるかについて考えることを目的とする。</p> <p>1. 心の健康教育とはどのようなものかについて述べるができる。</p> <p>2. 心の健康教育の実践について具体的に考えることができる。</p>	
授業の 展開計画  Outline of Class Sessions	回	内 容
	1	心の健康教育と公認心理師の役割（中村）
	2	心の健康教育に関する理解（1）ストレスマネジメント（中村）
	3	心の健康教育に関する理解（2）アンガーマネジメント（中村）
	4	心の健康教育の理論と実践（1）予防の視点から（藤田）
	5	心の健康教育の理論と実践（2）学校臨床の視点から（藤田）
	6	心の健康教育の理論と実践（3）心理臨床の視点から（藤田）
	7	心の健康教育の理論と実践（4）感情労働とメンタルヘルス（餅原）
	8	心の健康教育の理論と実践（5）発達障害とトラウマ（餅原）
	9	心の健康教育の理論と実践（6）病と心～HIV カウンセリングの視点から～（餅原）
	10	心の健康教育の理論と実践（7）地域精神科医療における心理学的支援～予防と対策～（仲）
	11	心の健康教育の理論と実践（8）地域精神科医療における心理学的支援～実践と課題；子どもを中心に～（仲）
	12	心の健康教育の理論と実践（9）地域精神科医療における心理学的支援～実践と課題；おとなを中心に～（仲）
	13	心の健康教育の理論と実践（10）自己との関わりと心の健康：イメージ（成願）
	14	心の健康教育の理論と実践（11）自己との関わりと心の健康：マインドフルネス（成願）
	15	心の健康教育の理論と実践（12）自己との関わりと心の健康：スピリチュアリティ（成願）
	16	
履修上の注意事項 Remarks	オムニバス形式の授業であり、担当教員ごとにレポート課題が課される。	
準備学習 Preparation	専門用語等は事前に調べ、関連する国内外の論文に積極的に触れること。 配布資料を整理し、毎回復習すること。 疑問点や意見を積極的に発言すること。	
評価方法 Evaluation Method	各担当教員からの課題レポート（5名×20%＝100%）で評価する。	
テキスト Materials	レジュメ等を配布する。	
参考文献 References	適宜配布する。	

# 情報の公表（抜粋版） ～鹿児島純心女子大学大学院～

2019年度 大学院学生便覧

【2019：鹿児島純心女子大学大学院 - 1年生 - 専門領域】

科目名 Subject Name	文化人類学特論	配当年次 Assigned Year	1年	開講時期 Semester	前期
担当教員 Instructor	小島 摩文	授業形態 Lecture Seminar and Practice	講義	単位数 Credits	2
関連資格 Related Qualification		備考 Notes	課題（試験やレポート等）については、フィードバックを行う。ただし、単位認定試験（レポート等）については、予め科目担当者が指定した期限内に申し出のあった学生のみ対応する。		

到達目標 Class Objectives	授業のねらい 本講義では、文化人類学・民俗学の立場から人間を理解できるようになることを目的としている。人間は社会的な動物である。人と人との繋がりの中に人間はいる。その繋がり全体としての社会を、文化人類学と民俗学は、生活という視点から観察できるようにする。そしてその生活とは、ある日突然はじまったものではなく、歴史の流れの中に存在している。そうした歴史的な背景をもっている生活を見ることから人間を理解できるようになる。	
授業の 展開計画  Outline of Class Sessions	関連する論文をよみ、質問と解説を積み重ねながら、論文を理解します。	
	回	内 容
	1	1, 文化人類学と民俗学 [1] 初学者のために文化人類学と民俗学についてガイダンスする。
	2	2, 柳田国男のこども観 [2-4] 柳田国男の「ウソと子供」を読み解きながら日本人が培ってきたこども観を考える。
	3	2, 柳田国男のこども観 [2-4] 柳田国男の「ウソと子供」を読み解きながら日本人が培ってきたこども観を考える。
	4	2, 柳田国男のこども観 [2-4] 柳田国男の「ウソと子供」を読み解きながら日本人が培ってきたこども観を考える。
	5	3, しぐさと文化 [5-7] 柳田国男の「涕泣史談」を読み解きながらしぐさと文化について考える。
	6	3, しぐさと文化 [5-7] 柳田国男の「涕泣史談」を読み解きながらしぐさと文化について考える。
	7	3, しぐさと文化 [5-7] 柳田国男の「涕泣史談」を読み解きながらしぐさと文化について考える。
	8	4, 説話の語るもの [8-10] 河合隼雄の「昔話の残酷性について」
	9	4, 説話の語るもの [8-10] 河合隼雄の「昔話の残酷性について」
	10	4, 説話の語るもの [8-10] 河合隼雄の「昔話の残酷性について」
	11	5, 家族とはなにか [11-13] 柳田国男の「外で飯食う事」を読み解きながら家族について考える。
	12	5, 家族とはなにか [11-13] 柳田国男の「外で飯食う事」を読み解きながら家族について考える。
	13	5, 家族とはなにか [11-13] 柳田国男の「外で飯食う事」を読み解きながら家族について考える。
	14	6, 信仰と癒し [14-15] 講義担当者の「シャーマンの儀礼的女性化について」を読み解きながら共同体と信仰・癒しについて考える。
	15	6, 信仰と癒し [14-15] 講義担当者の「シャーマンの儀礼的女性化について」を読み解きながら共同体と信仰・癒しについて考える。
16		
履修上の注意事項 Remarks	特になし	
準備学習 Preparation	予習として、事前にプリントを配付するので、良く読み込み、質問を考える。	
評価方法 Evaluation Method	授業態度：発問の有無、内容、その他授業態度 50% レポート：学期末にレポート提出 50%	
テキスト Materials	配付資料あり	
参考文献 References	柳田国男(1997-2015)『柳田国男全集』筑摩書房 河合隼雄(1995)『日本人とアイデンティティ』講談社 河合隼雄(2002)『昔話と日本人の心』岩波現代文庫	

# 情報の公表（抜粋版） ～鹿児島純心女子大学大学院～

2019年度 大学院学生便覧

【2019：鹿児島純心女子大学大学院 - 1年生 - 課題研究】

科目名 Subject Name	臨床心理基礎実習	配当年次 Assigned Year	1年	開講時期 Semester	通年
担当教員 Instructor	福田 みのり, 中村 誠文, 小田 奈緒美, 四元 真弓, 榮 さら, 成願 めぐみ, 渡邊 理恵	授業形態 Lecture Seminar and Practice	実験・実習・実技	単位数 Credits	2
関連資格 Related Qualification		備考 Notes	課題（試験やレポート等）については、フィードバックを行う。ただし、単位認定試験（レポート等）については、予め科目担当者が指定した期限内に申し出のあった学生のみ対応する。		

到達目標 Class Objectives	<p>依拠する方法やフィールドを問わず心理臨床家をを目指す者すべてに求められる「人」として、また「社会人」としての基本的態度や姿勢、ならびに「心理の専門家」としての資質や基礎的な技能等を、体験的な学習を通して習得することを到達目標とする。</p>
授業の展開計画 Outline of Class Sessions	<p>&lt;前期&gt;</p> <p>1) 心理臨床家としての基本的態度の習得</p> <p>①基本的対人態度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人としてのマナー、エチケットなど</li> <li>・心理臨床家としての基本的資質</li> <li>・相談受付：挨拶・電話の対応の仕方など</li> <li>・附属心理臨床相談センターの治療構造及び個人情報保護、守秘等に関するガイダンス</li> </ul> <p>②インテークの基本技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受理面接の方法、記録の作成、受理会議への報告について</li> </ul> <p>③心理臨床家の倫理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・治療構造の理解、ネットワークの活用と留意事項</li> <li>・守秘義務、人権、インフォームド・コンセントの考え方</li> </ul> <p>④臨床の感受性を高める</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感受性訓練や各種技法の体験学習</li> </ul> <p>⑤臨床現場の現状を学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校臨床（スクールカウンセリング）・学生相談</li> <li>・緊急支援</li> <li>・精神科臨床</li> </ul> <p>⑥学外実習施設の視察・見学（精神科病院、福祉施設）</p> <p>⑦地域支援活動の一環としての公開講座の企画・運営への参加</p> <p>&lt;後期&gt;</p> <p>2) 臨床心理の基本的技術：臨床心理の基本的技術を身につけ、臨床心理実習、心理実践実習につながる準備とする。</p> <p>①コミュニケーション力を身につける。</p> <p>②事例のよみかた・みかた</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モデル事例の報告書などをよみ、検討をおこない、ケース・カンファレンスについて学ぶ。</li> </ul> <p>③ロールプレイによる模擬体験をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・試行的心理面接（ロールプレイ）を行い、録画・録音により逐語録を作成し、検討を行う。その際、教員によるファシリテイトや助言を受けることにより、スーパービジョン体制について体験する。</li> </ul>
履修上の注意事項 Remarks	2年次開講の「臨床心理実習」に、オブザーバーとして参加すること。公認心理師・臨床心理士としての美質を意識しておくこと。
準備学習 Preparation	各回のテーマに関する事前学習ならびに振り返りレポート作成の事後学習を課す。
評価方法 Evaluation Method	各回および最終レポート70%、関心・意欲の程度をみる実習への取り組み30%の総合評価とする。
テキスト Materials	必要に応じて随時指示する。
参考文献 References	適宜紹介する。

# 情報の公表（抜粋版） ～鹿児島純心女子大学大学院～

2019年度 大学院学生便覧

【2019：鹿児島純心女子大学大学院 - 2年生 - 課題研究】

科目名 Subject Name	臨床心理実習	配当年次 Assigned Year	2年	開講時期 Semester	通年
担当教員 Instructor	餅原 尚子, 仲 沙織	授業形態 Lecture Seminar and Practice	実験・実 習・実技	単位数 Credits	2
関連資格 Related Qualification		備考 Notes	課題（試験やレポート等）については、フィードバックを行う。ただし、単位認定試験（レポート等）については、予め科目担当者が指定した期限内に申し出のあった学生のみ対応する。		

到達目標 Class Objectives	「臨床心理基礎実習」を踏まえ、大学院に設置されている附属心理臨床相談センターでの学内実習（ケース担当）、医療領域・福祉領域での学外実習を体験する。実習を通して、これまで学んできた心理臨床の基本的な知識や技術が実際の心理臨床の現場にどのように活かされているのか、臨床指導教員とのスーパービジョンやカンファレンスを通じて理解を深め、今後の心理臨床実践に向けての基盤を作り上げることを到達目標とする。
授業の 展開計画  Outline of Class Sessions	<p>餅原は、精神科病院、障害者支援施設、県社会福祉審議会委員等における臨床心理士・学識経験者として、仲は、精神科病院のアウトリーチ等の実務経験、さらに大学相談室等での業務の実際を活かした内容になる。</p> <p>1.学内実習、学外実習についての事前オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心理臨床業務について</li> <li>・倫理綱領について</li> <li>・実習生としてのマナーについて（服装、挨拶、連絡・報告・相談の態度など）</li> <li>・コミュニケーション能力、他職種協働について</li> <li>・実習先概要について</li> </ul> <p>2.学内実習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学内に設置されている心理臨床相談センターでケースを担当したり、実際の相談場面を観察・陪席し、実際の相談活動を体験する。</li> <li>・各セッション終了後は、クライアントの査定、面接のプロセスを、スーパービジョンやカンファレンスを通じて理解する。</li> <li>・学内実習の事例について論文を作成し、「心理臨床相談センター紀要」に投稿する。</li> </ul> <p>3.学外実習（病院臨床と福祉臨床を、前期/後期で交互に実習する）</p> <p>①医療領域（精神科病院）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床現場の臨床心理士の指導のもと、実際の臨床心理面接、臨床心理査定等の陪席実習、所見作成、可能であれば心理検査の実施、他職種との連携、協働のありようを学ぶ。</li> <li>・適宜、担当指導教員の指導を受ける。</li> <li>・実習日程は、学外実習先の現状にあわせる。</li> </ul> <p>②福祉領域（情緒障害児短期治療施設、障害者支援施設）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉領域における臨床心理実習を行う。臨床現場の臨床心理士等の指導のもと、利用者やスタッフと活動や作業をともにすることで、利用者との関係づくり、スタッフとのコンサルテーション、連携、協働のありようを学ぶ。事例検討会等にも積極的に参加し、チーム・アプローチのありようを感得する。</li> <li>・実習日程は、学外実習先の現状にあわせる。</li> </ul> <p>③学外実習の事後指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学外実習における実習生としてのありようについて自己表明し、心理臨床家としてのありようを感得する。</li> <li>・院生全員が参加することで、実習の概要等、共通理解する。</li> </ul>
履修上の注意事項 Remarks	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日ごろから、社会人としてのマナー、コミュニケーション能力を育ておくこと。</li> <li>・学内実習では、服装を整え、あらかじめ清掃、照明・空気の静穏を保ち、終了後は戸締りを徹底すること。</li> <li>・学内実習でケースを担当したり、観察・陪席をし、その後のグループ・スーパービジョン、個人スーパービジョンを受けるときは、目的意識をもつこと。各相談員および客員相談員のケースは、均等にケースを担当したり観察・陪席をし、偏りがないようにする。スーパービジョン後は、1週間以内に、ケースレポートをケース責任者に提出し、指導を受ける。</li> </ul>
準備学習 Preparation	「臨床心理基礎実習」を再確認しておくこと。 ケース担当ならびに陪席、監察等に必要知識や技術についての事前学習、事後学習を十分に行っておくこと。
評価方法 Evaluation Method	到達目標に対して、今後の心理臨床実践に向けての基盤ができているかに視点をあてて評価する。ケース担当および観察・陪席状況・実習態度（30%）とケースレポートの内容（30%）、学外実習の評価および実習態度（40%）により総合評価する。
テキスト Materials	下山晴彦編（2003）『臨床心理実習論』誠信書房
参考文献 References	APA(高橋三郎/大野裕監訳) (2014) 『DSM-5 精神疾患の分類と診断の手引き』医学書院 WHO (融道夫他訳) (2005) 『ICD-10 精神および行動の障害 臨床記述とガイドライン』医学書院 三浦四郎衛他著 (2006) 『精神科ポケット辞典 (新訂版)』弘文堂 日本心理臨床学会、日本臨床心理士会、財団法人日本臨床心理士資格認定協会等による倫理綱領等 *常時携帯すること。

# 情報の公表（抜粋版） ～鹿児島純心女子大学大学院～

2019年度 大学院学生便覧

【2019：鹿児島純心女子大学大学院 - 1年生 - 課題研究】

科目名 Subject Name	心理実践実習 I	配当年次 Assigned Year	1年	開講時期 Semester	通年
担当教員 Instructor	藤田 千鶴子, 餅原 尚子, 中村 誠文, 成願 めぐみ, 仲 沙織	授業形態 Lecture Seminar and Practice	実験・実習・実技	単位数 Credits	2
関連資格 Related Qualification		備考 Notes	課題（試験やレポート等）については、フィードバックを行う。ただし、単位認定試験（レポート等）については、予め科目担当者が指定した期限内に申し出のあった学生のみ対応する。		

到達目標 Class Objectives	臨床心理基礎実習の内容も踏まえながら、臨床心理基礎実習と並行して大学院に設置されている心理臨床相談センターでの相談業務について理解する。実際の心理面接等を観察・陪席し、ケースカンファレンスを通して、2年次のケース担当に向けて心理臨床家としての基本的姿勢や態度、並びに基礎的な実践技能を体験的に習得することを目指す。
授業の展開計画 Outline of Class Sessions	<p>授業は、演習を中心に展開し、大学院相談センター等での臨床心理士としての実務経験、業務の実際を取り入れた内容となる。</p> <p>(1) 学内外の実習についてのオリエンテーション (15 時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・倫理綱領について</li> <li>・実習生としてのマナーについて</li> <li>・臨床心理士・公認心理師の業務内容について</li> <li>・学外実習先等の概要</li> </ul> <p>(2) 学内実習の観察実習 (15 時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際の相談場面の観察や陪席</li> </ul> <p>(3) 学内実習ケースの合同・個別カンファレンスへの参加 (45 時間)</p> <p>(4) 心の健康教育に資する講座の企画・運営 (15 時間)</p>
履修上の注意事項 Remarks	社会人としてのマナーを重視する。
準備学習 Preparation	あらかじめテキストを熟読し、専門用語等を調べておくこと。 観察実習記録、ケースカンファレンスへの参加記録についてはケースレポートとして提出すること。
評価方法 Evaluation Method	「実習等への参加・態度」(30%)、「ケースレポート等の内容」(70%) で総合的に評価する。
テキスト Materials	下山晴彦編 (2003) 『臨床心理学全書 第4巻 臨床心理実習論』誠信書房
参考文献 References	APA(高橋三郎/大野裕監訳) (2014) 『DSM-5 精神疾患の分類と診断の手引き』医学書院 WHO (融道夫他訳) (2005) 『ICD-10 精神および行動の障害-臨床記述とガイドライン』医学書院 三浦四郎衛他著 (2006) 『精神科ポケット辞典 (新訂版)』弘文堂 ※常時携帯のこと。

# 情報の公表（抜粋版） ～鹿児島純心女子大学大学院～

2019年度 大学院学生便覧

【2019：鹿児島純心女子大学大学院 - 2年生 - 課題研究】

科目名 Subject Name	心理実践実習Ⅱ	配当年次 Assigned Year	2年	開講時期 Semester	通年
担当教員 Instructor	藤田 千鶴子, 餅原 尚子, 中村 誠文, 成願 めぐみ, 仲 沙織	授業形態 Lecture Seminar and Practice	実験・実習・実技	単位数 Credits	2
関連資格 Related Qualification		備考 Notes	課題（試験やレポート等）については、フィードバックを行う。 ただし、単位認定試験（レポート等）については、予め科目担当者が指定した期限内に申し出のあった学生のみ対応する。		

到達目標 Class Objectives	これまでの自己洞察をふまえて、学内外における実習において個人が達成すべき目標を設定し、実際の実習を通してそれをどの程度達成できたのか、事後に表明を行うことで今後臨床家として目指すべき姿について自分なりにイメージすることができる。司法・犯罪分野や産業・労働分野の施設の視察・見学を行い、それぞれの施設や施設での心理職の役割・機能を理解する。また、学内心理臨床相談センターにおいて実際に担当するケースのスーパービジョン及びケースカンファレンスを受けながら、心理臨床家として必要な実践技能を体験的に習得することを目標とする。
授業の展開計画 Outline of Class Sessions	授業は、演習を中心に展開し、大学院相談センター等での臨床心理士としての実務経験、業務の実際を取り入れた内容となる。 (1) 施設の視察・見学 (9 時間) ・ 司法・犯罪領域の施設 ・ 産業・労働領域の施設 (2) 学外実習の事前オリエンテーションと事後報告会 (18 時間) (3) 学内実習ケースの合同・個別カンファレンスへの参加 (4) 学内実習担当ケースの個人・集団スーパービジョンを受ける ※ (3) と (4) 合わせて 36 時間 (5) 心の健康教育に資する講座の企画・運営 (27 時間)
履修上の注意事項 Remarks	担当したケースのグループ・スーパービジョン、個人スーパービジョンを受けるときは、目的意識をもつこと。ケースカンファレンスにおいても積極的な姿勢で一人ひとりがそのケースについて考えを深めること。
準備学習 Preparation	「臨床心理基礎実習」や「心理実践実習Ⅰ」の記録を再確認し、実習先の実習状況、専門用語等を調べておくこと。 ケースカンファレンス・スーパービジョンの記録についてはケースレポートとして提出すること。
評価方法 Evaluation Method	「実習等への参加・態度」(30%)、「ケースレポート・見学レポート等の内容」(70%)で総合的に評価する。
テキスト Materials	適宜紹介する。
参考文献 References	日本心理臨床学会、日本臨床心理士会、公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会による倫理綱領等 APA(高橋三郎・大野裕監訳) (2014) 『DSM-5 精神疾患の分類と診断の手引き』医学書院 WHO (融道夫他訳) (2005) 『ICD-10 精神および行動の障害-臨床記述とガイドライン』医学書院 三浦四郎衛他著 (2006) 『精神科ポケット辞典 (新訂版)』弘文堂 *常時携帯すること。

# 情報の公表（抜粋版） ～鹿児島純心女子大学大学院～

2019年度 大学院学生便覧

【2019：鹿児島純心女子大学大学院 - 2年生 - 課題研究】

科目名 Subject Name	心理実践実習Ⅲ	配当年次 Assigned Year	2年	開講時期 Semester	通年
担当教員 Instructor	藤田 千鶴子, 餅原 尚子, 中村 誠文, 成願 めぐみ, 仲 沙織	授業形態 Lecture Seminar and Practice	実験・実習・実技	単位数 Credits	6
関連資格 Related Qualification		備考 Notes	課題（試験やレポート等）については、フィードバックを行う。ただし、単位認定試験（レポート等）については、予め科目担当者が指定した期限内に申し出のあった学生のみ対応する。		

到達目標 Class Objectives	<p>学外実習においては臨床現場の臨床心理士・公認心理師の指導のもと、実際の臨床心理面接、臨床心理査定等の陪席実習や、所見作成、他のスタッフとの連携、協働など、心理臨床家としてのバランス感覚等を得得することを目標とする。</p> <p>学内実習においては実際にケースを担当することでこれまでに学んできた心理臨床の基本的な知識や技術を実際の支援にどのように活かすのか体得することを目標とする。</p>
授業の展開計画 Outline of Class Sessions	<p>学内・外での実習を中心とし、それぞれの実習指導担当者や指導教員の各領域における臨床心理士としての実務経験、業務の実際を取り入れた内容となる。</p> <p>(1) 学外実習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療領域における実習（5日間：40時間）</li> <li>・福祉領域における実習（①8日間：64時間、②3日間：24時間、③6日間：48時間）</li> <li>・教育領域における実習（5日間：40時間）</li> </ul> <p>(2) 学内実習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心理臨床相談センターにおける実習（54時間）</li> </ul> <p>※学内外実習の合計時間：270時間</p>
履修上の注意事項 Remarks	<p>基本的なこととして、社会人としてのマナーを大切にし、体調管理を徹底すること。</p> <p>個人情報保護法に則り、実習日誌及びケースレポートを記録し、大学院心理臨床相談センター資料室で保管する。担当したケースに関するケースレポートについては実施後1週間以内を目処に、各ケース担当教員に提出すること。</p>
準備学習 Preparation	<p>ケース担当ならびに陪席、観察等に必要な知識や技術についての事前学習、事後学習を十分に行うこと。</p>
評価方法 Evaluation Method	<p>「実習への取組や態度」（30%）、「ケースレポートの内容及び実習日誌」（50%）、「学外実習先からの評価」（20%）で総合的に評価する。</p>
テキスト Materials	<p>適宜紹介する。</p>
参考文献 References	<p>日本心理臨床学会、日本臨床心理士会、財団法人日本臨床心理士資格認定協会等による倫理綱領等</p>

# 情報の公表（抜粋版） ～鹿児島純心女子大学大学院～

2019年度 大学院学生便覧

【2019：鹿児島純心女子大学大学院 - 2年生 - 特別研究】

科目名 Subject Name	特別研究	配当年次 Assigned Year	2年	開講時期 Semester	演習
担当教員 Instructor	藤田 千鶴子	授業形態 Lecture Seminar and Practice	講義	単位数 Credits	4
関連資格 Related Qualification		備考 Notes	課題（試験やレポート等）については、フィードバックを行う。ただし、単位認定試験（レポート等）については、予め科目担当者が指定した期限内に申し出のあった学生のみ対応する。		

到達目標 Class Objectives	障害児教育臨床に視点をあて、修士論文作成の指導を行う。教育臨床学が実践的な教育現象を土台として成り立っていることに鑑み、各自が教育臨床現場の実際に触れ、そこから問題を見だし、かつ研究する態度を養うことを目標とする。
授業の 展開計画  Outline of Class Sessions	<p>特殊教育諸学校における教育臨床現場（教育相談、コンサルテーション等）でさまざまな事例について観察をするとともに、可能な限り体験実習をし、その結果を報告するとともに、問題を認識して研究する作業を行う。そして、そのような作業を通して、障害児理解に不可欠な「観察」に視点をあて、修士論文作成の手がかりにしていく。特に、発達障害児、情緒障害児の行動や言語、非言語的表現等を詳細に参加観察することによって、人間理解の端緒にし、教育相談やコンサルテーション等に還元可能な実践的研究を行う。また、障害児・者を取りまく人々（家族、教師等）が彼らとの経験をどのように経験しているかについても考察を深める。</p> <p>研究方法としては、現象学を中心とした質的研究方法について参加者の共通の知識を培うことを目的として、基礎的な文献を講読する。同時に、論文の書き方の基礎と学習、及び各自のテーマについての資料の輪読や討論、各自の研究の発表と評価を行う。</p>
履修上の注意事項 Remarks	各自、自分の課題への問題意識を深め、積極的に自らその課題に取り組むことを期待する。
準備学習 Preparation	文献収集をしておくこと
評価方法 Evaluation Method	修士論文作成のプロセスと学習態度により評価する
テキスト Materials	適宜指示する
参考文献 References	適宜指示する

# 情報の公表（抜粋版） ～鹿児島純心女子大学大学院～

2019年度 大学院学生便覧

【2019：鹿児島純心女子大学大学院 － 2年生 － 特別研究】

科目名 Subject Name	特別研究	配当年次 Assigned Year	2年	開講時期 Semester	演習
担当教員 Instructor	餅原 尚子	授業形態 Lecture Seminar and Practice	講義	単位数 Credits	4
関連資格 Related Qualification		備考 Notes	課題（試験やレポート等）については、フィードバックを行う。ただし、単位認定試験（レポート等）については、予め科目担当者が指定した期限内に申し出のあった学生のみ対応する。		

到達目標 Class Objectives	臨床心理学の修士論文を完成する。 特に、研究倫理を遵守した上で、研究目的やその意義を正確に論述する能力を有し、論理的思考、創造的思考を身につけ、臨床的場面での問題点を見つけていることができることがねらいである。さらに、幅広く深化した高度な理論的・実践的能力を身につけ、独自の視点で修士論文をまとめる統合力、総合力を獲得していることを到達目標とする。
授業の 展開計画  Outline of Class Sessions	臨床心理学の視座からの課題を課題を中心に、各自の関心に基づく研究テーマを設定し、国内外の先行研究の検討や資料収集をはじめ、資料・データの検討、整理など、修士論文作成を視野に入れた指導を行う（精神科病院、スクール・カウンセリング、緊急支援、被害者・被災者支援、メンタルヘルス等における臨床心理士としての実務経験に基づく業務の実際を活かした内容を取り入れる）。 乳幼児から成人までのトラウマ（PTSD、CIS）、発達障害（ASD、LD、ADHD など）、情緒障害（不登校、選択性緘黙、心身症など）、精神障害（統合失調症、うつ病など）、人格障害（境界性パーソナリティ障害など）等のある人間を対象に、特に、心理発達査定論（ロールシャッハ・テスト等）、治療論（来談者中心療法、実存分析、遊戯療法、ポスト・トラウマティック・カウンセリング等）をキーワードに、先行研究を調べ、最近の研究の動向を把握する。 次に、問題点を絞り、仮説を立て、実証的なデータを収集する。また、得られたデータを解析し（質的分析：現象学的アプローチ等、量的分析）、考察を加えていくという手順で修士論文作成の指導を行う。 得られた結果を心理臨床場面でフィードバックすることは、必須の条件である。データを臨床的に意味づけ、考察するとともに、データの光と影を洞察する眼を感得するよう指導をする。
履修上の注意事項 Remarks	修士論文は、「臨床心理学」の内容であること。そのために、「臨床心理学」とは何か、再確認しておくこと。また、臨床心理学の視点から、絶えず、心理臨床の場に生かせるような問題意識をもっておくこと。
準備学習 Preparation	臨床心理学に関する最新の情報を収集し、自分の問題意識に添って、研究テーマを検討し、それに関する国内外の文献収集しておくこと。
評価方法 Evaluation Method	修士論文作成のプロセス（50%）と意欲の程度（20%）、修士論文の完成度（30%）により総合評価する。
テキスト Materials	久留一郎・餅原尚子著（2019）『臨床心理学－「生きる意味の確立」と心理支援－』八千代出版
参考文献 References	適宜指示する。

# 情報の公表（抜粋版） ～鹿児島純心女子大学大学院～

2019年度 大学院学生便覧

【2019：鹿児島純心女子大学大学院 - 2年生 - 特別研究】

科目名 Subject Name	特別研究	配当年次 Assigned Year	2年	開講時期 Semester	演習
担当教員 Instructor	成願 めぐみ	授業形態 Lecture Seminar and Practice	講義	単位数 Credits	4
関連資格 Related Qualification		備考 Notes	課題（試験やレポート等）については、フィードバックを行う。 ただし、単位認定試験（レポート等）については、予め科目担当者が指定した期限内に申し出のあった学生のみ対応する。		

到達目標 Class Objectives	臨床心理学的な視点と援助専門職としての問題意識から生まれた各自の研究テーマを具体化し、相応しい方法論を用いて論証し、修士論文として完成させる。更に、この経験を通して研究の基礎を身に付けることを目標とする。
授業の 展開計画  Outline of Class Sessions	各自が設定した研究テーマを臨床心理学の視座から検討する。また、最近の研究の動向を把握し、問題意識を深めると共に中心的問題へとテーマを具体化してゆく。その後、研究の独自性を考えながら具体的な研究計画（論文作成計画）を立て、倫理的な視点も踏まえながら適切な研究方法論（調査、面接等）について検討する。収集したデータを臨床的な意味づけを考慮しながら分析し、考察するという手順で修士論文作成の指導を行なう。修士論文作成後は、得られた結果を実際の臨床場面にフィードバックすることや、新たに見出された研究課題について検討し、今後の心理臨床や研究につないでゆく。
履修上の注意事項 Remarks	修士論文は「臨床心理学」の内容であること。そのために、「臨床心理学」とは何かを再確認し、臨床心理学的視点から、絶えず、心理臨床の場に生かせるような問題意識をもっておくこと。
準備学習 Preparation	自身の研究的関心、臨床的関心を深め、その分野の先行研究の動向を知っておくこと。また、多くの論文に触れ、論文とはどのようなものを理解しておくこと。
評価方法 Evaluation Method	修士論文作成過程（30%）と修士論文の内容到達度（70%）を総合的に評価する。
テキスト Materials	適宜指示する。
参考文献 References	適宜指示する。

# 情報の公表（抜粋版） ～鹿児島純心女子大学大学院～

2019年度 大学院学生便覧

【2019：鹿児島純心女子大学大学院 - 2年生 - 特別研究】

科目名 Subject Name	特別研究	配当年次 Assigned Year	2年	開講時期 Semester	演習
担当教員 Instructor	仲 沙織	授業形態 Lecture Seminar and Practice	講義	単位数 Credits	4
関連資格 Related Qualification		備考 Notes	課題（試験やレポート等）については、フィードバックを行う。ただし、単位認定試験（レポート等）については、予め科目担当者が指定した期限内に申し出のあった学生のみ対応する。		

到達目標 Class Objectives	臨床心理学に関する研究指導（修士論文作成指導）を行う。各自の興味関心に基づいた研究テーマを設定し、研究の動向に関する文献調査から、研究の目的及び問題意識を深める。さらに、実証調査を行い、修士論文の完成を目指すとともに、研究の基礎を身に付け、自身の研究が今後の心理臨床の実践や研究にどのような意味を持ち、どのように発展していく可能性が見出せたのか考察し、研究発表ができることを目標とする。 1.国内外の文献に積極的に触れ、問題意識を高め研究テーマを設定することができる。 2.研究デザインを作成し、計画的に研究を進めることができる。 3.修士論文を完成することができる。
授業の 展開計画  Outline of Class Sessions	各自の興味関心に基づいた研究テーマを、臨床心理学の視座から検討する。先行研究や資料等を熟読し、問題意識を高め、修士論文としての独自性も考慮しながら、さらに自身の研究テーマを具体化していく。研究デザインを作成し、研究方法や仮説の生成など、研究の基礎を身に付ける。各自の研究テーマは異なれど、学生相互の意見交換を重視し、クリティカルな思考を培い、他者へ分かりやすく伝える力を養いたい。修士論文作成にあたっては、常に研究倫理を持ち、研究がどのようにクライアントに役立てることができるのか、どのように今後の心理臨床へ生かすことができるのかを念頭に置き進めていきたい。
履修上の注意事項 Remarks	修士論文は「臨床心理学」の内容であること。そのために、「臨床心理学」とは何か、再確認をしておくこと。また、授業や実践の場において、日ごろから問題意識を持って取り組むこと。
準備学習 Preparation	自身の研究的関心、臨床的関心を常に深め、国内外の文献に積極的に触れること。ゼミでは積極的に自分の言葉で発言すること。
評価方法 Evaluation Method	修士論文執筆過程及び学習態度（30%）、到達度（70%）で総合的に評価する。
テキスト Materials	適宜指示する。
参考文献 References	適宜指示する。

# 情報の公表（抜粋版） ～鹿児島純心女子大学大学院～

2019年度 大学院学生便覧

【2019：鹿児島純心女子大学大学院 - 2年生 - 特別研究】

科目名 Subject Name	特別研究	配当年次 Assigned Year	2年	開講時期 Semester	演習
担当教員 Instructor	中村 誠文	授業形態 Lecture Seminar and Practice	講義	単位数 Credits	4
関連資格 Related Qualification		備考 Notes	課題（試験やレポート等）については、フィードバックを行う。ただし、単位認定試験（レポート等）については、予め科目担当者が指定した期限内に申し出のあった学生のみ対応する。		

到達目標 Class Objectives	<p>心理臨床学を基盤として各自の興味関心に基づいた研究テーマを設定し、研究の動向に関する文献調査や研究倫理を厳守した上で実証調査をおこない、臨床に役立つ修士論文の完成を目指すとともに、研究の基礎を身につける。また、人や社会に関心を持ち、情報収集、分析能力とともに研究と心理臨床家に必要な“想像力と創造力”を養い、内外に発信する能力を培っていくことが目的である。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 心理臨床学を基盤として、興味関心のあることを述べるができる。</li> <li>2. 臨床心理学の研究法や論文作成の作法を学び、論文として形にしていけることができる。</li> <li>3. 論文を作成し、自身の論文を人に伝えることができる。</li> </ol>
授業の 展開計画  Outline of Class Sessions	<p>各自の興味関心に基づいた研究テーマを臨床心理学の視座から検討する。先行研究等の文献を収集し、研究の独自性にも考慮しながら研究テーマを具体化していく。修士論文の作成過程では、問題意識をもちながらクリティカルな視点で先行研究や最近の研究の動向を把握し、具体的な研究計画を立て、研究倫理に配慮しながら方法論について検討し、実証調査をおこなっていく。そして収集したデータを分析・考察し、その結果を臨床にフィードバックしていく。授業を通して、論文作成はもちろんのこと、心理臨床家としての姿勢・態度、論理的思考と創造的思考を培うことも目指して、授業を展開していく。</p>
履修上の注意事項 Remarks	<p>修士論文は「臨床心理学」の内容なので、「臨床心理学」とは何かを再認識しておくこと。 また、臨床心理学の視点から絶えず、心理臨床の場に生かせるような問題意識を持っておくこと。</p>
準備学習 Preparation	<p>自身の研究的関心、臨床的関心を常に深め、国内外の文献に触れておくこと。 また、臨床心理学に関連する学会への積極的な参加を期待する。</p>
評価方法 Evaluation Method	<p>評価は、「関心・意欲の程度をみる論文作成への取り組み」（30%）、「論文の内容」（50%）、「論文のプレゼンテーション」（20%）の総合評価とする。</p>
テキスト Materials	<p>適宜紹介する。</p>
参考文献 References	<p>適宜紹介する。</p>

# 情報の公表（抜粋版） ～鹿児島純心女子大学大学院～

## 2019年度 年間計画（大学院）

	日	月	火	水	木	金	土
4月	3/31	4/1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
5月	28	29	30	5/1	2	3	4
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
6月	26	27	28	29	30	31	6/1
	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
7月	30	7/1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
8月	28	29	30	31	8/1	2	3
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	31
9月	9/1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
10月	29	30	10/1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
11月	27	28	29	30	11/1	2	3
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	31
12月	12/1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
1月	29	30	31	1/1	2	3	4
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
2月	26	27	28	29	30	31	2/1
	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
3月	3/1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
4月	29	30	31	4/1	2	3	4

※7/15：第1回ミニキャンパス見学会

### ◎授業時間

時 限	I	II	III	IV	V
時 間	9:00～10:30	10:40～12:10	13:00～14:30	14:40～16:10	16:20～17:50

## (4) 学修の成果に係る評価及び修了の認定に当たっての基準 (必修・選択・自由科目別の必要単位修得数及び取得可能学位)

### 学修の成果に係る評価基準（令和元年5月1日現在）

各科目の評価は、担当教員がシラバスに明示した評価方法により行われる。 [pp. 28-66参照]  
 評価は秀・優・良・可・不可の評語をもって表し、秀（100～90点）、優（89～80点）、良（79～70点）、可（69～60点）を合格とする。

### 修了の認定に当たっての基準（令和元年5月1日現在）

修了要件は、修士課程に2年以上在学し、30単位以上を修得すると共に、必要な研究指導を受けた上で修士論文の審査及び最終試験に合格することとする。修士論文の審査及び最終試験は研究科委員会において審査委員会を設けて行い、その可否は研究科委員会の議を経て学長が決定する。

修了要件単位数（最低修得単位数）：30単位以上

専門領域：12単位以上（必修12単位を含む）

課題研究：14単位

特別研究：4単位

### 取得可能学位（令和元年5月1日現在）

研究科	専攻	学位の名称
人間科学研究科	心理臨床学専攻	修士(心理臨床学)

## （5）学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援

### 学生の修学に係る支援（令和元年5月1日現在）

#### 学校法人鹿児島純心女子学園姉妹在籍による授業料給付

対象は鹿児島純心女子学園の設置する大学院・大学・短期大学・高等学校・中学校に同時に在籍する姉妹が3名となった場合の最年少者1名で、必要書類による申請に基づいて決定する。給付額は最年少者1名の授業料で、給付の実施方法は原則として納入金より授業料相当額を差し引くこととする。

### 進路選択に係る支援（令和元年5月1日現在）

教員（特別研究担当等）及び進路支援課が適切な資料や情報の提供、進路相談、応募書類作成時の助言、面接練習、ハローワークジョブサポーターとの面談等の各種支援を行うと共に院生研究室に面した掲示板に求人票スペースを設けている。

### 心身の健康等に係る支援（令和元年5月1日現在）

保健室では、健康管理に役立つ情報を提供すると共に、常駐の職員が心身の健康に関する相談に対応する。

また、学生相談室では、様々な悩みや不安に関する相談（メールによる相談可）に学生相談員が対応し、必要に応じて専門家を紹介する。

## （6）教育上の目的に応じ学生が修得すべき知識及び能力に関する情報 （主要科目の特長、科目ごとの目標等）

### 主要科目の特長（令和元年5月1日現在）

人間科学研究科 心理臨床学専攻では、研究力、臨床力、社会的責任・倫理観の絶妙なバランス感覚をもった、社会に求められる心理臨床家を養成するために、以下のようなカリキュラムを提供する。

#### 1. 社会的責任・倫理観

一人の人間としてのアイデンティティを確立し、研究倫理に加え、社会に貢献できる資質を涵養できるよう研究指導、臨床指導を行う。

#### 2. 研究力

心理臨床学をベースに、学際的に学ぶ態度（リベラルアーツ）を培えるような「専門領域」科目を開講する。また、1年次より、修士論文指導教員の修士論文作成セミナーに参加し、創造的に研究する力を養い、自らの心理臨床的関心を深めるようにする。少人数制により、独創的で社会に貢献しうる研究力を涵養し、その成果を修士論文としてまとめられるよう「特別研究」の科目を開講する。

#### 3. 臨床力

地域貢献を踏まえた臨床心理実習を充実させた「課題研究」科目を提供する。1年次に社会人としてのマナー、コミュニケーション力を育む「臨床心理基礎実習」、学内実習として実際の相談場面を観察・陪席し、ケースカンファレンスを通して、2年次の、「心理実践実習Ⅱ」により、学外実習の事前・事後指導及び学内実習の事例検討会を行う。さらに、「臨床心理実習」「心理実践実習Ⅲ」により、学内実習及び、医療施設・福祉施設等での臨床実習を提供する。これらの臨床実習を通して、他者の苦悩を想像する力、アセスメントする能力、創造的な支援（臨床心理面接）のありようを感得できるよう、スーパーヴィジョン・ケースカンファレンスを重視する。

### 科目ごとの目標等（令和元年5月1日現在）

各科目の到達目標等はシラバスに明示している。 **[pp. 28-66参照]**

学校教育法施行規則で定められた情報の公表（令和元年度）

教育研究上の情報

## （4）国際交流・社会貢献等の概要

### 事業・財務報告（平成31年3月31日現在）

財務情報は学校法人鹿児島純心女子学園ホームページ（学園概要ページ最下段）で公表している。

学園ホームページ  
（学園概要ページ）

<https://www.k-junshin.ac.jp/gakuen/about/index.html#jigyouzaimu>

学校教育法施行規則で定められた情報の公表（令和元年度）

教育研究上の情報

## （1）教育条件

### ① 教員一人当たり学生数（令和元年5月1日現在）

研究科	専攻	在籍者数	専任教員数	教員一人当たり学生数
人間科学研究科	心理臨床学専攻	12	11	1.1

※専任教員は学部教員が兼ねる。

### ② 収容定員充足率（令和元年5月1日現在）

収容定員充足率……収容定員に占める在学者数の割合

研究科	専攻	収容定員	在学者数	収容定員充足率
人間科学研究科	心理臨床学専攻	20	12	60.0%

### ③ 年齢別教員数（令和元年5月1日現在）

研究科	専攻	20代	30代	40代	50代	60代	70代
人間科学研究科	心理臨床学専攻	0	2	2	2	5	0

※専任教員は学部教員が兼ねる。

### ④ 職階別教員数令和元年5月1日現在）

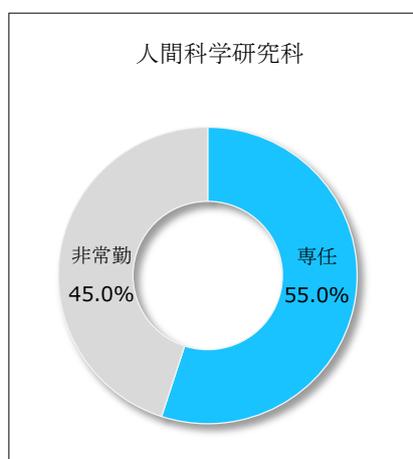
研究科	専攻	教授	准教授	講師	助教	助手
人間科学研究科	心理臨床学専攻	6	1	4	0	0

※専任教員は学部教員が兼ねる。

## （2）教育内容

### ⑤ 専任教員と非常勤教員の比率（令和元年5月1日現在）

研究科	専任教員数	非常勤教員数	計
人間科学研究科	11	9	20



※専任教員は学部教員が兼ねる。

### ⑥ 学位授与数（平成31年3月31日現在）

学位授与数……平成30年度に学位を授与された修了者数

研究科	専攻	学位授与数
人間科学研究科	心理臨床学専攻	6

### ⑦ 就職先の情報（令和元年5月1日現在）

平成30年度修了生の主な就職先
児童心理治療施設（臨床心理士）、児童相談所（児童心理司）、病院（臨床心理士）等

## (3) 学生の状況

### ⑧ 入学者推移（令和元年5月1日現在）

研究科	専攻	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
人間科学研究科	心理臨床学専攻	5	6	4	7

### ⑨ 退学・除籍者数（平成31年3月31日現在）

退学・除籍者……平成30年度における中途退学者及び除籍者の人数

研究科	専攻	退学者数	除籍者数
人間科学研究科	心理臨床学専攻	0	1

### ⑩ 中退率（平成31年3月31日現在）

中退率……平成30年度における在籍者数（5月1日現在）に占める中途退学者数の割合

学部／研究科	学科／専攻	在学者数	退学者数	中退率
人間科学研究科	心理臨床学専攻	14	0	—

※退学者がない場合の中退率は「—」で表示する。

### ⑪ 留年者数（令和元年5月1日現在）

留年者……休学、復学及び成績不振等により留年した者（学則第37条）

該当なし

### ⑫ 社会人学生数（令和元年5月1日現在）

社会人学生……正規課程に在籍する者で、平成31年4月1日現在、25歳以上の者（平成6年4月1日以前に生まれた者）

研究科	専攻	社会人学生数
人間科学研究科	心理臨床学専攻	3

### ⑬ 留学生数及び海外派遣学生数（令和元年5月1日現在）

該当なし

## （４）国際交流・社会貢献等の概要

### ⑭ 海外の協定相手校（令和元年5月1日現在）

該当なし

### ⑮ 社会貢献活動（平成31年3月31日現在）

本学主催の講座等（平成30年度実績）

名称	日程	対象	受講者数
大学院、こども学科主催公開講座 【シンポジウム】 「さまざまな災害に備える ～「想定内」にしておくこと～」	10月27日	一般	47
大学院心理臨床相談センター主催公開講座 「ロールシャッハ反応から精神病理をよむ ～トラウマに視点をあてて～」	10月28日	教師、養護教諭、保育士、保健師、 臨床心理士等の心理援助専門職 の方、心理学専攻等の大学院生等 (守秘義務を遵守できる方)	19
大学院心理臨床相談センター主催公開講座 「スクール(キャンパス)・トラウマとその支援 ～「想像」し、「創造」すること～」	2月16日	教師、養護教諭、保育士、保健師、 臨床心理士等の心理援助専門職 の方、心理学専攻等の大学院生等 (守秘義務を遵守できる方)	22

### ⑯ 大学間連携（平成31年3月31日現在）

該当なし

### ⑰ 産官学連携（平成31年3月31日現在）

文部科学省及び独立行政法人日本学術振興会の「科学研究費助成事業」に採択された大学院担当教員の研究課題の内、平成30年度に研究活動が行われたものは次のとおりである。

研究課題	代表研究者
療育関係者のキャリア発達を支える段階的教育・研修プログラムの実証的研究 <a href="https://kaken.nii.ac.jp/grant/KAKENHI-PROJECT-18K13017/">https://kaken.nii.ac.jp/grant/KAKENHI-PROJECT-18K13017/</a>	有村 玲香
トラウマ(PTSD,CIS等)が発達障害に及ぼす影響に関する臨床心理学的研究 <a href="https://kaken.nii.ac.jp/grant/KAKENHI-PROJECT-17K04480/">https://kaken.nii.ac.jp/grant/KAKENHI-PROJECT-17K04480/</a>	餅原 尚子